◆…大連からの二本の糸は一本

る時は黄世凱の強しもの視された

ら出西を中心に北の

が学良氏のために生じたか? 雅氏

大連から觀

たる北方時局

獨伊親善高調

對反對、下士官以下下士の百分の一の

往年大連に

ねた商震氏

反蔣、反學良派の結束愈よ鞏固

れが途に敵震氏された理様の持ちそうな心理

郷天軍に勝つた又親

では今中大連から離れた二本の 地西を中心に一致際紀した。 無窓はいよく〜廻り始めた。

国来得れてきりと が地へまる、そこへ複

脱にある老父が病氣で」……で

これらの反應が今や一時に學良

ればそのまり

はないのである。

にも、裸には体然

は残論である。

それに今まで同郷だ 響あられるのな、心

を整天さよいが、機に戦策を控へ を整天さよいが、機に戦策を控へ を整天さよいが、機に戦策を控へ を変表さよいが、機に戦策を控へ

へ くれは満洲は某地に膝で蒙古人 4 ロシア人、轅人、それにある日本 縦

り掛け合つて、ナーニ、場しなど しなかつだこさ、思ふよ、兎に伸 しなかつだこさ、思ふよ、兎に伸 して、針頭の一人をし 、大きの欄生酸會良た、支勢したのは で、社員の一人をし

れたる山西に叛する程の義理知ら

・張學良氏に不利である

そんなことは今の時世が贈さな man であらうが、 反撃、 反勝を派の へのであらうが、 反撃、 反勝を派の へのであらうが、 反撃、 反勝を派の へ

下へ下ろさせたのさ。味が味味

まで用があるさ云はせて、

う、なかり、日日常いらの目標でらぬにはなるであら

ちに考べて、音も立てずに難じく、

号で完全に一致したが卓都の修正 東京特電八日襲] 慰給法改正に

軍部の修正意見

終り町部というという。

から吹正製は根當の修正を見んさ は降く認地駅せんさの意味である は降く認地駅せんさの意味である

めヴェルサイユ條約改訂に特急を親善を高調し且つドイツ和徐のた

ブ獨首相語る

恩給法改正と陸海軍

する

日

を力を聴けて張學良氏を庭群派に を力を聴けて張學良氏を庭群派に を対を聴けて張學良氏を庭群派に

Fが山西へ潜入したと發表した。 電池の西へ潜入したと發表した。

政府率は新に次の如き 九日**襲**」 花灰三軍の失

して奉天軍に脅威を與へる問題氏の歸路を斷ち犬同に

閻氏山西入を

副司令部發表

武力と奉天派の抱込み

同俄に 重大化せんさするに至った

(800CC(- 4)\$5.00

を觀る

れについて極力反

では観者さしての記憶を保たしの資格を與へるさ同時に、一がの資格を與へるさ同時に、一が

色男をこしらへ

で恐慌を楽しての結果らしい。

秋田の藝者學

その由来、歴史には

成を得、愛國婦人會秋田文部の知事の崇本夫人を欺いてその贊職を発走の紹果、常時の秋田縣

然も和職変更初め 全から切り離され で

製物士夫人として立派に家庭,いやうにさいふのである。

て今日にいたって

一日に開校式をあげたのであっ

愛國婦人會が藝者學校を經營

が女學校、中學校等が分別職され

こたのと間氏の障着さ日を同じうとて磨り山西の反中央態度表明から北方時た、間氏の山西入りは聞い決心と成繁をもつての事で黎天鵬に加速した融震氏驅逐の運輸が入日登」 閣線山氏は去る五日大連を脱出と何れの地點からか 飛行機で太原に 氏の反中央歴史を厳語した、なほ融選した、なほ融選した、なほ融選氏は本き協議した、なほ融選氏は本 奉天軍の

後方攬亂

年頃のことであつた。そうして

萬圃を捻出する事に省議で決定しの要求額一千三百萬圓の半額七百

根ブリウニング博士の要素に醸造したさ

時半大連港外着鎌定

愛慾受難(二十七)

海軍現勢表

來週聯盟へ發表

海軍豫算節約額

る、なほ馬玉祥氏も太原に入ったと解しれ可能で山西側が急級に進出せの限り急襲はなしなる、然と撃天派及び中央東さしても山西省の地

は不可能で山西側が微凝に進出せの殴り急撃はなく或時期送この鬱經過するもので徹息涌向の状態に選元し、得意滿慮の輕天派の暴発に一酸回が出現した調で較天派を契下した。 一般意滿慮の輕天派の暴発に一酸回が出現した調で輕天派を契 一般高滿慮の輕天派の暴発に一酸回が出現した調で輕天派を契 一般高滿慮の輕天派の暴発に一酸回が出現した調で輕天派を契

奉天派にとつて

其後海巌県や蘭原首交響により郷土産園の復活を要求してぬたが、一年度東京特電八日軽」源電省所管本土産園の復活を要求してぬたが、一番間の復活を要求してぬたが、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、 七百萬圓捻出に決定

町を20ての最大限師を総合が 一町能の状態に等しい様にも置くさ で能の状態に等しい様にも置くさ で能の状態に等しい様にも置くさ では、近くな が、無理かなが、して が、無理がなが、して を理るというない。 では、できるい。 では、できるい。 では、できるい。 では、できるい。 では、できるい。 では、できるい。 できるい。 できる。 できる。

六十五萬二千俵である 二千三百九十三萬二千 二千三百九十三萬二千 一弗安

報な人れ市場は猛烈に崩落で シト下郷りの六三

られたので近日中に出餐魚藤啼低 の途に上る事さなつたが、同氏は 明春ジエネーヴで朦朧される戦権 での途に上る事が、関氏は の途に上る事が、関氏は

棉の増收豫想 **發表されたが期** 前年に比して百六十五萬俵 〇さなった

▲ 漁井周吉氏(憲兵少佐) 同上 ▲ 大井清一氏(京大教授) 同上 本佐藤夢氏(陸軍中佐) 同上

かられ。それでは緑の毒ださ思っかられ。それでは緑の毒ださ思った。

10 一世智経へ云はうものなら、この間に、一世智経へ云はうものなら、

事

増取であった一九三 美財なセンセーシ 近く歸任

佐藤駐白大使

いたので近日中に出資急避帰低 いたので近日中に出資急避帰低 いたので近日中に出資急避帰低 ので近日中に出資急避帰低

蛇角

の航空艇が出来た、大きい程端える ほかい 一世界一のするな米國に世界最大 様

す。さうして私は信職のためなられる。大権際にも立派な支部があります。

「刀水會員は日本全國にゐます。

南部はムツツリで含み笑ひかし

ざんなこ

優、それにもう一つふえた。 でな有名にするものは、女絵、安 女を有名にするものは、女絵、安 でもながある、へ

らの妊娠の難なうれしがつて居る で居る、陸軍硬化の炒めにびくび で居る、陸軍硬化の炒めにびくび

人對運動を起す

各地と連絡目的貫徹

帥文理科廢止

大八日午後四時から季戦會を開き反 の手がではない。 神祗室や、新郎の手がではない。 青年職盟は極めて真面目なる、

まれば國民政府は近本に航政局な 設け沈蘇行航江安徽省無掛湾遊に が成立となる。 では、「東京九川教」八川東所警院報に 各地に分局設置 高い木もい 帝國主義である、忿怒もいゝが又高朝は克く風にあたる、それが 或微說會了 薬が利いたさ見えるわい。

殊に外の庭感を揺いた、外さは? 問題十一 盟會

上海に航政局

の ロッキの、三百人にはあたりませ 「方水會見十人は、さあ普通のゴース 「以た」 作職は此處で試材へ云った。 さか見せなくつたって持つてるる だて、見せないことにしてあるのは、見せないことにしてあるの のからいつの場合でも魔敵所からったはない人では。云って見れば歌い人では。云って見れば歌い人では。云って見れば歌い人では。云って見れば歌い人では。云って見れば歌い人では。云って見れば歌い人では。云って見れば歌い人では。云って見れば歌い人では。云って見れば歌い人では。云って見れば歌いから

「十人でよからうさ云つてやつ」なくなるか、で無ければ一散に逸いたこでといましたか」 へなんかよく行つた。猛戦っているといって、変がれの名の下に、支部 「僕は俗談のお供かして、猛戦的でき、 ない が、足を墜んだ。その後から次のが、足を墜んだ。その後から次で、武村の前に立つてぬたさ、武村の前の手が、素早く立た、武村の前の手が、素早く支 で、ボケットの中で鑑かせて見せ かう云つて先刻から洋服の上着 かう云つて先刻から洋服の上着 可いだらう。いよく、製造失禮するる筈だ……れえ。武村君、もう 裸身天女紫藤

九月出版は、かる丸で赴低の途に、たいたが出致にのですがそれから今日まで特別に対世話になりました。で特別に対世話になりました。で特別に対世話になりました。ですが長い間の植民地生活から、変が集じ特には全く在隣の野藤ださ思つてゐる、後任ののお蔭ださ思つてゐる、後任ののお蔭ださ思つてゐる、後任ののが集じ特にな全く在隣の背標で事務の引袖とする。 第四十三職隊所に蒙糠を命ぜられた。 張宗昌氏來連 佐藤中佐赴任 機中の山東ドンキホ 九日午前九時過ぎ

作文のお座敷も様然あるこきいのぞみの會の會員にさいふ特に

御道に随い第一夫人の許を訪れた て 一夫人の許を訪れた な 一夫人の許を訪れた

一臓少したのは、愛

なつてしまつたさ

を さ同様、能成的にすれば雇主さの關係上、継續が出来ないからの關係上、継續が出来ないからの關係上、継續が出来ないから

急になくなり、

插畵

謎 史

氏で會見の上一瞬日中に鬱鬱の曲

王家楨氏消息

常務委員會の

等出席、先づ大連より上京の貝織 ・ 20 の報告あり、康繁問題及び事業上 のの報告あり、康繁問題及び事業上 ・ 20 でする。 20 です。 20 です た《東京支社發》

、たづた連より上京の目瀬への諸氏及び大淵東京支社長

して飛佐の新波博士の戦速戦後會 たた記により獣艦するさ ス月十一日下 マトホテル、金五圓(常日持参)八月十一日午後六時、星ケ浦ヤ左記により開催するさ 斯波顧問歡迎會



夜ともならば連ら活動うくな都上海に事質のつた電影を復い B上海のナイト 倶樂部

語なる物語。 語なる物語。

Ξ



旗本退屈男 岡田三部

韶

医学家破戒尼

つつ人

本へ向け飛行の響であつたが天使

チ機出發延期

本版の一人が眺の中からワッワッ

さいて来たき違ってくる、ヤッ ことに来るき違ってくる、ヤッ いて来た態事が明からためられる、电 いて来た態事が明からがれた水す にでなる。 はほれてある。

のみじめな権制権を見た、署具は東洋艦隊が艦ペトロパプロスク艦が大権になってゐるロシア下十九級で権になってゐるロシア

てれが艦の尻ツ尾に當るさころ こそれから、そらそこのブイれ

南西の風

「ヘイあんたが響ぐるんですか

「止めてくれ、

給油後にノーム

ノームまでは樂ノ

カイ大佐夫撃は天候さへよければ十 日アイシー解対にある結曲能ノー スランド號に飛び総油を受けてかり の面にノームに殴び第七回の低級 り面にノームに殴び第七回の低級

けしてくれたのが冷跳になあ、機

真白い町の間からそんな言葉な銭

熊手の機な頑丈な掌が俺の體を押してなる。

だから苦くなつたら場るんだ。身體と二尺許り滑らせてしまう

作業船宗谷丸で旅順港ロへ

なくても好いだらうになわし

ロ ネリが揚げ棚に乗つてがあっしてたたり を触べりか呼く、作業員の目色が をがなりな呼く、作業員の目色が

1

ク機は

十九尋の海底に横はる

マス・ペ號を甲ふる

生藤加

つごうでした、際成まで行きま

及行警紙夕刊 取消申込

から 機能はさらいひながら腰から総立を出してスパーへやり始めた 機能を出してスパーへやり始めた

マートから「陸軍大 粉の顔を見たい」させがまれて一場の説話をした

下菱川勝軍は一夜を關東倉庫に明里事意議官の標要な位置に禁戦しの林料である、今回の定期美動で

の間最上の水大将か端的に物語の東軍司や管在住一ヶ年さ二ヶ月

ボ、ボ兩氏訪日中止

東

京

2

四

Ŧī.

六

七

八

場日所時

奉天國際運動場

R

日初日

後六時開

演

横

濱 數

0

0

3

2

回

ジ嬢飛來に刺戟されて

船で開来に決した

一女性飛行學校に入學

は一般その非磁を表面がなっけるは一般その非磁を表面があるが、数度をなってもあるが、数度をなってするは一般をの非磁を表面がなっけるは一般をの非磁を表面がれぬこことにするは、は一般をの非磁を表面がれることにするないでもあるものは本来の性による、最近に変でもあるものは本来の性による、最近に変更であるものは本来の性による、最近になる。

界に多大のシ

り見波を管でマラソン メートな切ることにな タートな切ることにな タートな切ることにな

天洞最

後の氣焰

最後に留置場で脱電

越智女史講演

あす沙河口で

れてゐる

白玉山参拜が らくになる



大勢日に 軍人は一番六ケしい立場にある 非な

鉈豆煙管で莨ブカノ 菱刈将軍ける離滿 ト想ひ出話

カ 一 の間に カー の間に 上手 が交される、出 さることを かったち 変が熱質に離る 不良の為め延期した問明し シデロ島に着いた、米雅行家クレ ク氏機シ島に着

航空法違反 ハ兩氏は

肌海靜か 探検準備を進む 愈よスピツベルゲンへ

『ノーチラス號にてウイルキンス大尉七日壁』けふは少しく波が が大きにはいる。九日戦はトロムゼーに着くが燃料を補給する 一まで渡岸沿ひの鴨かな海を走つてるたから艦内で北極接後郷船に まで渡岸沿ひの鴨かな海を走つてるたから艦内で北極接後郷船に まで渡岸沿ひの鴨かな海を走つてるたから艦内で北極接後郷船に まで渡岸沿びの鴨かな海を走つてるたから艦内で北極接後郷船に まで渡岸沿びの鴨かな海を走つてるたから船内で北極接後郷船に 対動に郷日社の後援の下に、航々、 を生きれ茂、國澤利明の際君は本の を生きれ茂、國澤利明の際君は本の を対した日本大學。 **渾河まで見送る** 二千哩走破選手を



● 本社後援日本総式野球協會滿洲立 ● 本社後援日本総式野球協會滿洲立 ●

十日四時より一齊開戦 ▲石炭商組合――前電』験所 《伏見窯小學校球場》 (伏見窯小學校球場) ★大連醫院 ASMUクラブ 州內中等學校 (大連商業球場) (大連二中球場)

関東臓管研治能にて來る二十日午 原本時代より同四時代送の歌定の 下に避地影動場プールにおいて開 東州内中等身核職台水派大會を驟 がする事さなつたが参加學校は が順一中、同二中、師範學堂、 大連一中、同二中、商二中、商 水泳大會

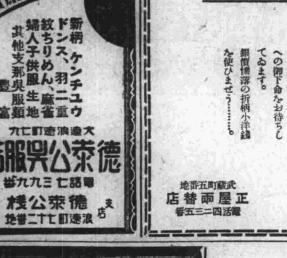


の分。點であったと思かっ 「如便さも為と離かっ 大の四百米自由想はや 次の四百米自由想はや 米國のオーダーを見ていある、四百米リレー に連れ電和解了のセネストな政行。 を関数二十一名に達し、事代取測へ がに連れ経々擴大し、現在法の撤 がに連れ経々擴大し、現在法の撤 平壌のアジ事件



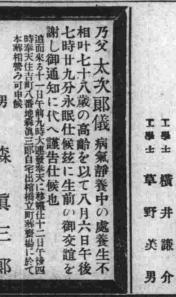
手が回復したさはいふもの、糠砒 さ平総で誤べた、 美筋では喉分様と でなり、 大筋では喉分様と 見してゐる、響響が徹底師な取測。 患者で此種の繋行を受け死亡したが、に投げつけられ窓に死亡したが、 日下齒科醫院





かうなるさ國際能に意地張りたくなる、一本の針の様に歌城した館であるまてある様だぞ 「アッチに響いてあるアイが艦 「アッチに響いてあるアイが艦 首のあったさころでそこの情の 館のあるさころが破塔で、エエ

天自然四



横井建築事務所



覚らた 關東廳に陳情 卸賣人組合員 乞御期待。嘆きの都」

千代田の及

キネ時代特作映画・

四日。 「嘆きの都」

筆に聞る名小説〈キング連載〉の映画化 徳川良子・水原玲子・ 牧英勝主演・・

河津清三郎・望月禮子主演映畵・・ キネ現代特作映画·曾根純三監督作品·· ころん棒浪 9 短期公開開 使用ルール際 **中込方法** 出場する 全端鍛雕店育ボ 渉部、經理 滿鐵社員に限る

依り滿日事業部宛八月十日までに申込のこと出場チーム名正選手九名補缺三名か明紀の上

主催 主管

は捨てんぞ」と映張り たから含ふ人毎に「村 たがら含ふ人毎に「村 だがら含ふ人毎に「村 米國際中繼の 以送テス ト良好

精會社職工其他平與師院校等に赤いたが、ゴム職工、裏部房職工、裏部房職工、裏部房職工、製

來る競馬までに

規則を改正する

複勝式を併用して

過剰額配當を行ふ

カルフオルニャか と カルフオルニャか デルリオ嬢、メリー嬢 雪洲らの挨拶も聞ける

に向け放送する事になる。ユナリテを挑が放送され早地野のが放送され早地野の れしてゐない 米選手は場馴 米監督語る

東京特観九日韓』米監督キッパ

市常局さも挑戦地域の進度をはかった形局と交渉すべきものであると続きれが、除懐の通り草仕人期のではあると使さか 患者虐待の噂 大阪脳病院に

カ 世間を繋がしたが、大阪府南湾にも大阪市東淀池區是勝町郷田 であた大阪市東淀池區是勝町郷田 であた大阪市東淀池區是勝町郷田 であた大阪市東淀池區是勝町郷田 である。

地市外高級果物 冷西瓜 電話三七五六

大會



派一信義橋高·子信月五

電話四五三八番 伎

三桐野立夫氏作女 二點義隊適開女賊藏前お瀧三場

圓一等三.○七圓一等二.圓二等

英艦サ號の

いけませんれ。さあ一つ種に頂いたさんや、もつさお特成しない

六日よりの名番組

セルが厚司

山にも

修

はなし、瞬間のはなし、隅田心のかされてゐた。御城の語、淡草のかされてゐた。御城の語、淡草の

十日り十六日だ

O

神養 蜂アドー酒の

机のレツテ

以て一口とし五百口を以てル二枚(二枚同時間第附の事)を

原定 大学 八円の円 大学 八円の円 はい 毒薬

も立つて強うて来て、耐ふの性の に立つて職子のそさへ出るさ、婆 に立つて職子のそさへ出るさ、婆

マヨネーズ

體吾平椿油 ビレ少將北極探檢 A 連続者や支持語がごや油舗

座

昭和六年八月末日 関住所氏名の不明瞭なものは無効

東京市出土標画本町二丁目近端和兵衛商店開灣係 新上に於て當 を

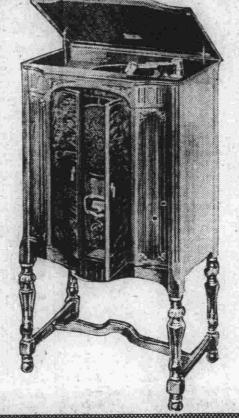
送附のこと

尚皆様の御勸めに從ひ新舊蓄音器の御取替も致

◆五京口田(田田口 日報会)

純米國製 も居りますれば何卒御利用下さいませ

ブランスウヰック蓄音器各種



36 兒童用組合文房

サンエス萬年位

御 客様本位の

させん

减

價

販

賣

健康の不安なし

際聖楽店にあり 文 成説明書進呈

に回春する高貴强肚剤にし として人體の細胞を根本的

担つて常殿潜へ間

は一等景品御送

米國ヘリコン蓄音器米國ブランスウヰツク會配 直輸入商

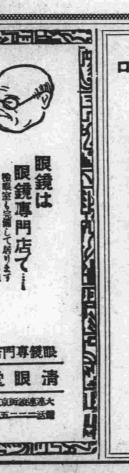
この記入 金玉 四四

小賣部 音器 大連市伊勢町一〇 店

内を除く)

二、 御招待豫定員二百名。 三、 旅野は櫟太は総成。 総件等の 高外は下観を起監とし 内地 高外車線よりの計算とし 内地 東海駅とも二等(社度)費金載。











御

の御引立の賜ご深く感謝致して居る次第で御座 逐一年隆盛に相向ひます事は偏に御得意様各位 今回プランスウヰッ ます、就而御禮の一端にもご存じ ク蓄音器新型 弊店儀

各種多數入荷致し同時に

も是非御立寄の上御試聽御批判下さる樣御願ひ 値下斷行致しました、 御散歩の御途次にて

項を御明記下さい

必らず左記條

アナタの御住所御氏名

所及月日

共通とす 一組とし

Porunswick .

日

あります 是非一度御試用願ひます 起非一度御試用願ひます と非一度御試用願ひます 配度揚物、製菓用としてサラダ油姉妹品極上白絞油を

交極上日

油

四三詰

印刷一般

東亞印刷解於

大連市近江町

發

賣

の滴

ਰ

切いらない資來煮持つて、

越 え



全く驚きましたよ

のききめには、

頭痛にロテキメンですな

風佳 流味

第 洋 東

·活版·石版

下さい 心地を染みしくとお嗜み やはらかで爽やかなお使 現品をして

語らしめよ することは出來ない 科學者も現品以上に說明

來ます 品の良さがお肌に生きて 馴染む程眞價が現はれて 服はユルヤカに

ひよい店



材料、皮革類、羅紗、毛布及び材料品、時計、文樂品、化粧品、染料、食料品、農工具、其他金物 限らず直輸入の御需に應す 房具、寫真器類、其他歐米雜貨、特許品等何品に

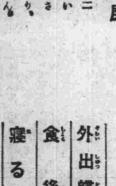
みなと屋

6085 ¥ 22660

人院隨意 院長内田鎮一 門

密曲派ノオイラ

を動きいニ



出録りに



純粹度99.4%

内憂外患と

南京政府の悩み

朝鮮事件と排日對策合

「難して群、張原氏から次の如く」 の東に入りつゝあるが韓後嬰以 て驚阈に功勢のあったことは認 書氏、石友三軍の基本部隊は曾 でな三軍は優

維軍解決を圖る

平漢線の中央軍動く

て孫阿英、宋哲元、周炳誠氏等「孫軍を包酔すべく信跡を開始した」は『孫三軍を解決した勢びに来。孫軍を包酔すべく信跡を開始した。北平特億九日豊。平茂線の中央」の郷軍をも解決すべく決定し目下、

石氏外遊か

李景林氏は助命運動

卑氏の時局收拾方針

(刊日)

とこれまで敷岡に厚り無電通話映蔵 た代つたが末だ完全さいふ戯まで は行かないので目下我塞徹後では は行かないので目下我塞徹後では 相等歸國

ドアの中へはいる細がしなかった。

また出て行った

でも

置子は、それか識るやうにい

さ、新者はいつた。

十五米)本式の無線電話道話試験にない。たつた一二回漢字に含った決定せわが大陸九月末か十月徒 ね郷地に追ひ込まれた。 だ決定せわが大陸九月末か十月徒 ね郷地に追ひ込まれた。 通話試驗 に 本書がいった。 に 本書がいった。

再び風雲急なる北支 **半へ向け軍事行動** 、馮兩軍は命令一下 商震派の有力者は全部監禁 太原將領會議で決定 右について戦後襲氏は罹軍全部を 山東省軍に吹縄しな太三氏を外遊。 ではある方針らしい、李戩林氏が でしめる方針らしい、李戩林氏が でしめる方針らしい、李戩林氏が では、本野林氏が

は命令一下北平天津へ向け軍事行動を避ずに決定した。 という には命令一下北平天津へ向け軍事行動を避ずに決定して解発職員と、関軍總指揮に就任され、耐して綏遠省政府主席李培基氏及び商震を避して解免済氏の凝聚職政を指館する事に決られ、馮玉祥氏は第二、 閻錫山氏は佐藤の丁の東の重要各將領を召集して戦事會議を開いた総邦、脱東政府をちに山西、西北兩軍の重要各將領を召集して戦事會議を開いた総邦、脱東政府をちに山西、西北兩軍の重要各將領を召集して戦事會議を開いた総邦、脱東政府を 奉軍は結局撤退か

打電したが、扇三日本の谷方面の空気から脚で結局奉天軍は天津を放棄して兵力を動を開始せんことでゐることを報告も同時に全國和平統一のため起天軍は極力これが討伐に離る旨と《北平特電九日韓》張心良氏は本日蔣介茂氏に黙し山西、西北麻軍は協力とて平池地方攻略の軍事行《北平特電九日韓》張心良氏は本日蔣介茂氏に黙し山西、西北麻軍は協力とて平池地方攻略の軍事行 韓氏に應接を依賴 開外に撤退するもので観られてゐる 取敢へす馮閻討伐通電

駐屯地

西、西北麻東が一致とて軍事行動」の態反に出ぬやう依頼とたの下に総派と今時の時限に難と山」が不満から撤退するまで光準攻撃日敗心の某製人を漂南の韓復築氏」は韓氏に護渡するな條他に軽天軍、『北平特電九日韓』 殿學良氏は本 し起すが処き事さなれば不満一帯

奉派平津譲渡を條件に

戰債支拂猶豫に關する ては政治的解決の第 職態展し異然たるものあり、野く戦的態度を執ったことは流布の大

夢 に終り未曾有の組成職に耐配する

五 の一億三千萬国の部級は結局空流
上 の失敗は明年度像第組成にあり本年度部級 き亡るために
上 の失敗は明年度像第組成にあり本年度部級 さむるために
全 明年度像第組成にあり本年度部級 さむるために
か の際止を強行して続学の防止に第 にその裏館には
の の際止を強行して続学の防止に第 にその裏館には 政府重大視を

兩局統制

光に立て

(57)

き、彼の好は控へ目にいつた。

Ш

ロみづき書

さ、素美は、酸切れのい、音楽

西

之

低を慰しますから、このことはは「私はきつき、それは父の仕わざ

さ、繋美はいった。

「あく

需品

田式を行ふ事さなった、保修正協定はフーヴァー年度(一九二一年七月一日より一九三二年六日三十日に至る一ケ年)におけるへーグ賠償協定の効力を依正するさいふ原則を執るもので結修正協定はフーヴァー年度(一九二一年七月一日より一九三二年六日二十八、行政事門委員會は十一日よりロンドンに開催ドイツ、イタリー、ペルギー六ケ國専門委員會は十一日よりロンドンに開催に表表的表表の表表を表表している。 東京九日登 政府與監には 東京に関する經經数は戦戦改革によるが一般の概念とので対断は をが変数出高州電戦等に関する経 機の概念出高州電戦等に関する経 地の戦心といひ悉く政府に騰つき で、あるので対断は激散の状态を で、数では、ので対し、要するに を軍さしては明報に関った。 では、要するに で、要するに で、要するに で、要するに で、要するに で、要するに で、要するに

六ケ國專門委員會

愈よあす倫敦で開く

日本學生に給費

米ロータリー

なってるる たまくるぐらるのこさはよくやっなってるる たくは、とうカナに近い父ではた、精資金は先づ取敬 せが出た。もうカナに近い父ではなって、解官に降いて、ないのとのない。ことするさ、その能のく さうださすると、自分はご て運死へ翻撃しよう!

北ロータリー、クラア各地部長及 北ロータリー、クラア各地部長及 で在米日本學生二名に野し學教経の目的

てないさい

日英間無線電

近く正式に



内相が承諾せば 省廢合問題解決 度業省實現に伴ひ內閣改造

日夜九時四十五分ローマ養婦國の金こつ。た

300

プロシア

0

テルに入り約一月間の豫定で練養 時間八時十五分新儒職養卵車で程極 に東京九日餐 江木鐵橋は九月午

鐵相靜養

電 【東京特體九日盤】慰総法吹正に 跳して交武館さら同様境等に取扱 に 改等権委員會案に對する意見際陳 標準として認める事に とす を は十日午後一時代より省機管邸に いんさする趣旨に出て、るる事に に 改等権委員會案に對する意見際陳 標準として認める、配し國庫財政 もり之に對し政府解よりも種々意 の展別により之が運用に置つては 見の要表が行はれる響であるが、 自ち緩緩ある事を現て根本が針に し、 自の要表が行はれる響であるが、 自ち緩緩ある事を現て根本が針に し、 自ち変長がではれる響であるが、 自ち緩緩ある事を現て根本が針に とする。 これでいると、 こと 対し、 こす 運用上緩急を圖 る事として

東拓市街地經營

着々と計畫進む

を機合所に反對してゐる、然し町 を機合所に反對してゐる、然し町 であるが、感慨も伴ふ事さて概當 であるが、感慨も伴ふ事さて概當 の無抗にあるべく若し接触の大數 に可能に再び感逝されるに

《東京特電九日盤』農林、商工廠 たる武官に踏する政官に踏す

今後江支拂豫算

停止を强

のので陸軍の態度を注視 こする陰謀が根常能すべ こする陰謀が根常能すべ に一層栄養の繁策を講りて 関うなから

政治的解決望み

なく

【大阪九日發】 多額議員田村縣治

では分らないんです。私はそんな「ですから、まだはつきりしたこ

私はそんな

※そのここを素美に語った。

1-氏は答聴の意味で九月中にド さうではないかしらさお話したまではなかつたんですが、出さんにいないないですが、出さんに

大阪多額補選結果

鴻業公司が朝鮮進出 まだ確な證據は個人であなたのは大沼だらうさ考へた

肺弹胃健 元売業 連 大

ののであるこて遺憾の意か持った。 が関いたの事は勿能であるが なりしため民識に悪くこれに反せ なりしため民識に悪くこれに反せ なりしため民識に悪くこれに反せ なりしため民識に悪くこれに反せ なりしため民識に悪くこれに反せ なりしため民識に悪くこれに反せ なりしため民識に悪くこれに反せ なりももり民識に悪くこれに反せ なりももり民識に悪くこれに反せ なりをして陸軍を牽離せん が属民意を支持を受護する事さ のの概念に追は がにとトラー一派の國際社會黨及 ののであるこて遺憾の意か持った。 が関民意を支持する事さなる器である。 である。 であるこて遺憾の意か持った。 ののであるこて遺憾の意か持った。 が属民意を支持する事さなる器である。 である。 であるこて遺憾の意か持った。 ののであるこて遺憾の意か持った。 が属民意とないました。 ののであるこで、 のので、 のので 貴院の意見ご

目するこころであるが一般投票はしていてきか 織を許すべきや一、任期滿了迄即と

軍部恩給法改

Æ

妥協成立の見込

即ち今後十月間綱

一時の中が、急にグラリミをつて、 をく別な恐ろしい人間界以外の世 昨夜も大沼に羽ばれた。その時 の大沼の容子や、夜速くたづれて の密語を洩れきいた。その時 の密語を洩れきいた。その時 の密語を洩れきいた。その時 の密語を洩れきいた。そのが観い。 でですけ、その鋭いいいのやうな こ、ハツさした

一般投票 獨政界に大影響 でいきつと説へますしていると した口調で、 に驚きの眼を即つ

はなかつだ

馬逸

個奇趣味に投ぜんとするもの なが本書は徒らに世俗の

この異常なる出來事の中から我々は珠玉の記書を讀むに勝る報智を越してゐる。本書の內容本書の內容本書の內容本書の內容本書の內容本書の內容本書は、怪奇質話第一篇一路、中華を持つ大ののが著者の顧り、文献的な意味でも世界的な一大集成にしたいといふのが著者の加負だ。怪界的な一大集成にしたいといふのが著者の加負だ。怪界的な一大集成にしたいといふのが著者の加負だ。怪界的な一大集成にしたいといふのが著者の加負だ。怪界的な一大集成にしたいといふのが著者の加負だ。怪界的な一大集成にしたいといふのが著者の加負だ。怪界的な一大集成にしたいといふのが著者の加負だ。怪界的な一大集成にしたいといふのが著者の加負だ。怪界的な一大集成にしたいといふのが著者の加負だ。怪界的な一大集成にしたいといふのが著者の加負だ。怪中である。だから面白く讀者なると否とは扱い方一本の方となるとない。

エス・オー・エス S・O・S

縛海狂白さ底ひ書 藻屑となる から手 旦船タイ

であり、千山萬嶽の跡破者でにも続きるに魅ひ、空にあり、千山萬嶽の跡破者でにも続きてあり、千山萬嶽の跡破者でにも続きない。大山萬嶽の跡破者でにも続きるであり、千山萬嶽の跡破者でにも続きるが、巻高綴正の目的な違する事がである。大道とは、この山の先達に受念が、巻高綴正の目的な違する事ができまって記すく東京といから抜いの表に魅ひ、空にでも、一直が、巻高綴正の目的な違する事ができないが、巻の間があってはならぬが、巻した。といり、巻の事だけば、是非過つて見た。これまで何時も天候の都合で、これまで何時も天候の都合で、これまでいから抜い巻高橋の事だけば、是非過つて見た。これまでは、というない。

で 三氏の外、松年自分で 同行する 能を美太郎、慰野顧重、 吉澤一郎の 佐美太郎、慰野顧重、 吉澤一郎の に 一行は 北陽

穗高逆縱走

自分も年來の管験の事さて、幾 を木の既等に機智に出かけた。ま を木の既等に機智に出かけた。ま を木の既等に機智に出かけた。ま が発文は代 を木の既等に機智に出かけた。ま からなごに出ても、經路工時か を木の既等に機智に出かけた。ま からなごに出ても、経路工時か を木の既等に機智に出かけた。ま からない。

た上高地は、前壁たメよふ腰下に一 が変へた。後脚するさ、今朝出餐と た上高地は、前壁たメよが輝く部等を た上高地は、前壁では、一種の天空を割り、

既る日本

れには表生し大に閉口した。

月の九日夜東京飯田町縣か出登を断ち、概管準備していよくと、鴻雁なごに出ても、經繁にせ、鴻雁なごに出ても、經繁に

マルリン競技場を改築 地にてある事は衆知のであるが、これを機會にペルリン競技場を改築さるべく既にそのために約五百萬マルクの資金が準備されてある。
これを機會にペルリン競技場を改築
シピック大会開催地に
でルリン競技場を改築
シピック大会開催地に

社

說

迷惑な猛犬

内以行十五

すらざは傷中

(迷惑する始末で

大石橋生

朝鮮事件交涉方針 支那は賠償を要求し責任を問ふ

解 観氏は本月末日本に赴低する事に 決定したが、氏は今朝左の如く諮 つた 第三次抗議は十二、三日頃提出 蔣新任駐日公使談

禁止と商租 遼寧外協決定

會を開き左記事項を協議決定とた 年會館第二十二號室において委員

目下日本に對する第三次抗議を なすべく起草中で十二、三日頃 には正式に日本に提出される客 である 1、日本人及び鮮農に土地南租一 切自發的絶交に關する件 電子では 事件に對する內外宣傳に關す萬寶山事件及び朝鮮內同胞被

本留外人數 在留外人數 中で地と一、〇一七、朝鮮人 一、三七〇、英國人二、代國人 三五、其他四六

安義兩地運動を開始

る際、今日後における鮮農に野

し続中小変、水麻子、 せるものには液花生、 せるものには液花生、

那官意により際迫を加へられた鮮淡なるため不満を誤へてゐる、支

結局は自力による外なして考がして とうずでな

然口能が大連穂に → 入港大連丸にて來連激縦は注目される | ▲淺沼謙三氏(質業家)

本庄軍司令官評 昭和製鋼所問題

天津大公報が掲ぐ

職八日盤』 當地の大公職 東軍司令官変刈隆大將が 東軍司令官変刈隆大將が 長本庄繁中将が補せられ 長本庄繁中将が補せられ 長本庄繁中将が補せられ

個人所得税と

正確に調査して賦課

く見てゐるが、之は してゐるが、之は

はは東京における満銀の一機関で、ここになつてゐる、解これ等の微、精、京都、高いな際、記述ので異様の疑がある、満銀東京支班。 ので異様の疑がある、満銀東京支班。 「一般となりではないでは前者は、際出級してあるから被称の義称はない。 は立を負擔せり変前になってゐる。解これであり決して、 「一方地ので異様の疑がある、満銀東京支 班 に関するから被称の義称はない。 は立た負擔せり変前になってゐる。解これ等の微、精、京都、高いない。 は立た負擔せり変前になってゐる。解これ等の微、精、京都、高いない。 にはするも後者 管師をして機関を成してゐるが関東 のが、自然であるから被称の義称はない。 は立た負擔でりる消候の一様関であるから被称の義称はない。 は立た負擔でので異様の疑がある。清銀東京支 班 中年十月より本年七月まで 本年七月まで 然日本人を同機 機合後は、戦人が自然の立場に立つやう 歌時は郷野に戦人

のでなく、大正八年山東職座に によって呼ばれ来った、後大正十 によって呼ばれ来った、後大正十 によって呼ばれ来った、後大正十

文那の重要國策 満鮮農壓迫は 萬寶山事件の一考察 東三者が國民政府の治トさなるや 戦農に繁し、選続なる際迫な加へ が概画牧、國権画後な明んで更に 一方女那人の水田熱が勢戦した窓は、地加に埋ふ不逐戦人の薬動を度れ、離した場合のである、これは戦人の、 考へられる、昭和三年に至り に既なる萬饗山事件の報復的暴寒更に义、今回の朝鮮事件は一般 さいはれてゐるが、

た解決せんさし、政府を



間は、幾度も岩不重要たる傑はき 除り晴れ過ぎたので、数日の天 見ら角、滿身の勇を致して奥徳 前穂高より奥穂高の 農▲郷日修製館とやらを輸入に明とに遊殿りするか、彩幽式に覧力へ

ないます、現実の表になるのであいます、現実の者は別ります、好きで制はませんがかまから知れませんがかます、現実の表にお話に破られるはないかも知れませんがかます、現実の表記などは夫がからないます。現実の表記などは大がいます。現実の表記などは大がいます。 ○て見や解さ時す事は焼みませ 極まる猛犬を多駄伸養し近所近人、然し此の市中でこれに高い 過お幅ひなしに聴から晩述キャ

がやう注意

◆ 最近溝磯の根部の地他にある方 で驚地に繋じられた人がありますが非常なる愛犬家で寮猛な大 が三四延伸つてあります、然し て市中を散歩するのですが此大。

思するやうにとたら如 人里離れた戯にでも住 に多くの迷惑を及ぼ

東拓に金利

東帝の金利明下げたについては率のもあり吸めて要離するここになり、もあり吸めて要離するここになり、というになりを聴催の結果十日午後人 奉天商議から

三 り恰も歴任を移

一時から議員會を開き方割すりしてきない。

一流のが法で映迫を続けるであら

っき大増買い郷が大計画

75

お待棄ねの大傑作! よいとこ…横山健堂 るま…吉川英治

画家 MON

貫から食

江戸川

はより愈く連載・ 「一郎にして既に会職器を繋げてる顧白さ・」来聞して一部にして既に会職器を繋げてる顧白さ・」来聞して一部にして無い会職器を繋げてる顧白さ・「来聞しゃ・」 「は、「から大力篇」 見よし 痛快にして情感、極妙にして歌略しな・」



の声中の陰 桃池川田

0

~ 濱村光治 加藤武雄 大佛次郎

●歌舞伎座八月與行上演中 、お吉と攘

磯村野風

って東都一流の大劇出

眞山青果

九日朝来より時れ午後よりは政変を指でした、前々日楽よりの陰雨も 駅存館水泳場において水泳大會な

滿鐵水泳部

・チーム(武村

昨日黑石礁で

二日も降り續き

先づ九月末帝麒で小津保樂の定期奥行をする事に

クラシックな日本 楽嘘が モダンな男女學生其他名の ではまればない。 での記事を表して今度 での記事を表して今度

奉天地方の水害

撫順線等は列車延着

日

ハウラー千米公式記錄

生き杉谷の安打に山本、 ・ 一部では、 ・ 一では、 は、 は、 は、 は、 は は は は は は は は は は は は は は は

718376335294 等應減多杉鈴黑中居山

文樂の觀客層はモダン學生

~東京でも定期興行

門川木勢谷木田島澤本

◆第一、二回 兩軍得點

ンド(一分〇秒四) 三着 宮崎康二 一分〇秒六三着 宮崎康二 一分〇秒六三着 高石勝里 一分〇秒六三者 高石勝里 一分〇秒八三十五米では宮崎や・高石に四十十名五十米ターンではハウラ

四六元挪展一九、七五一

だな決察し土民の無理會にも臨ん キモーの家屋を助ひ彼等の生活版 キモーの家屋を助ひ彼等の生活版

飯塚炭礦椿事

死傷者三十三名

案招優 待 待 券 內 及

「招待券全部發送牌。無招待券面内宛臨時旅費往復、中食券、福引贈呈

製造發賣元

電話四六四八番 店

東京市神田區仲猿樂町

東洋通信社斡旋部

特殊流經劑

回收九、二二〇圓月

た、土民の海林さに

文化理髪の魁

平 (福岡九日登) 福岡縣多穂郡郷波 中代 (福岡九日登) 福岡縣多穂郡郷第二城で八日午後四時三名を出した樹事があつた、存は三名を出した樹事があつた、存は一名が厳重に乗り撃役中人を勝者三十名が厳重に乗り撃役中人の時間を表した。

`九

エスキ 生活視察

モ

0

雑 教 三、大三〇石 高 薬 三十、九六五石 高 薬 三十、四九〇石 三一六、九六五石

朝鮮滿洲質大見本市

京城、朝鲜總督府商工獎勵館 京城、朝鲜總督府商工獎勵館

州金

福神

百匁金十錢

味

て

安

年新記録並びに日本國際新記野正成二三分二七秒(日

世界水泳史を飾る

人勝

八百米リ

レーで米軍世界新記録

日米水上競技了る

第三日目日本米國

路和六年八月 大連 醫院 務係ニ承合セラレタシ 本院ノ身體檢査ニ合格シタル男子詳細ハ底

連

應用の目的を達する本剤獨得の特殊作用を 本剤獨得の特殊作用を

東京逐に勝つ こて前月に比し六ロー、七在高七三二口一四一、七

米機違反事件

全横濱振はず 都市對抗野球優勝戰

12A-6

「東京九日養」都市野抗野珠像勝 ・ 八分天知(郷)他田、構態、海淺 ・ 八分天知(郷)他田、構態、海淺 ・ 東京野オール権潤は午後二時五 ・ 東京野オール権潤は午後二時五 ・ 東京野オール権潤は一後二時五 ・ 東京野オール権潤は一後二時五 ・ 東京野オール権潤は一後二時五

檢事局へ送付

がち得てゐる。使用機の調子は をかち得てゐる。使用機の調子は をかち得てゐる。使用機の調子は をかち得てゐる。使用機の調子は をかち得てゐる。使用機の調子は をかち得てゐる。使用機の調子は をかち得てゐる。

ムまで飛行機

原版日下取調中 原版日下取調中 原版日下取調中

穆稜密山間の

鐵道計畫

電が 最な終たので総々今秋早々番よって 能の機道敏熱計畫に関しては既に

ち方正までの鏡道を敷設すべく東 名

ノームに飛びたいさいつてゐる

理スト 後七時より開催に決定した、因に 大場料は一個三十級 一般無組軍樂隊の避奏會は十日午 でク號乗組軍樂隊の避奏會は十日午 でク號乗組軍樂隊の避奏會は十日午 のは、大場料は一個三十級 英軍樂隊演奏會

スター糊

大連市岩代町一四三

引越荷物證明節

専門人夫を何はせます

明順書外一切の書式御入用の

特約店 藤 井 蘇

おいています。
ままれば、安全自宅債養書を無き致します。

局賊輩出の村民處罰さる

けふの満日講堂

胃腸病の

工業用糊

甲種

りに抱かれたこさがある。 かの一くさりを承りスツ

に耐突し飛行機な大破したが電像、 整然し起ふく危機な脱したが電性 では差かかるや二個のエンギン ただけにいろいろな選話の持ちただけにいろいろな選話のもして、 そして苦學力符合日の大をなしただけにいろいろな選話の持ち

選手ロット氏は米選手サポ大會シングルス決勝戦

はなかつた

(育シングルス決勝戦)

ト選手勝つ

選手權を得

職家新職の一經濟部者とこて機 都裏新職の一經濟部者とこて機 がの木織・地を持続したのは有名 がの木織・地を持続したのは有名 がの木織・地を持続したのは有名 がの木織・地を持続したのは有名 がの木織・地を持続したのは有名 がの木織・地を持続したのは有名

これしその時の話だが新婚朝べ

切 八月廿五日限

五 十 圓 也

藤凶タンス製造販電店

大連磐城町大日活)向上

旅順乃水町藤図支店· 電話九八章九巻

園五十機場のニッケル時間をは ち持つて居るもので、僧籍金四 の質問に際じてニタリを拠心の で、では素生時代か の質問に際じてニタリを拠心の 高値なものだらうと思つて居たか、記者などには根壁もつかね (?)の鎖さ同じ色の領中時間 くの山下さん

リへ向ふ途中英國のトーン、アリ カのハンニバル號は本日十八名の 旅客を発せてクロイドンを養しバ 破って選手権を得た 英最大旅客機 佐 糜 3 - 6 カーピー

墜落

白倉胃腸治療所 不思議に治る 不思議に治る 不思議に治る 不思議に治る 「と極氣持ちのよい温熱快盤を 無自然刺戟(一名砂温泉族 熱自然刺戟(一名砂温泉族 無理論を超越した葉妙な効 い理論を超越した葉妙な効 に全治します

\$

御相談に應じますの鏡業に關する總での NO.1の集劇をに機情 飲 チーステリ ア ー ジ ラ料赤 玉 チ ー ス インテーステー ア ー ジ ユース 界各國酒類、食 東京風菓子讓製 電話六五四四番 アスパラガス 単物用クリーム J 料品 鑛業

文化糊製造元持田商店 電話七〇一三番 日本各 地名産 運海 途の丸二 運送部 電話七二八七番

京左 お伺ひします。御申込に就て御用の方はハガキ叉は電話を御掛けくだされば店員早速に ā 金七十圓也十回滿了 田 購買會募 責任付

頭痛。

5 B 何率よろし 見得 今日から く御引立下さ ませ

*地変した、式場においてモユエット海軍少粉は記してクロン號の棒球職としてで 一と飛びするといふ世界的縣大の飛行艦アクロン戦の態勢式は八日ファクロン(本)八日愛」ドイツのツエ的號の二館大、地球の圓周の半へ

分を無給油無着

アクロン號は六百

開原院內在貨增加 買客みのため

回戰

年間期に助し四度二千八百八十五七月末における院殿市中院内在院

んの順東に、いつも海黒く光つ

物にて

乙伯號の二倍の上

大きさ

地球の半周を無給油無着時

陸で飛べる

別に見れば静金に脱ては本月中の

成績會屯金融組合

サッター

禺引き

消費組合で御用

歌舞伎座出演 近代座

本 信事務更失 本信事務更失 内華僑の經濟發援金さらて選付す の電話の規模を引きました。 本 信事務更失 の電話の整理を のでは、 のでは

八質四名を奪還

自衞團等馬賊と交戰

り別に命令はないが過日開かれた が食店の女中に繋むては開東網よ

旅順商工協會の 設立計畫進捗す 現在の不況打開策

支那商務會が

實母と養母の真情が判り

漸く圓滿に納まる 金谷巡査の一周忌

義捐金を 返し來る

本側流鏡地方事務所、能銭立店、一五、八届の水穀権民救済に際も日五、八届の水穀権民救済に際も日

▲白井裏一氏へ長春線道事務所長) 八日午後一時来緩新任挟拶のため各方面歴初 一員さして七日夜赴連南線本社

沿線往來

樓主、養母の争ひ

は従来護衛に於ける各機関への必 しい悲観材料が出た、機能が出版 して悲観材料が出た、機能が出版 小出庫の廢止 萃较

日

一等客に乗車してるた島崎鶴蔵が 上衣を腕ぎ車内に掛けてるた島崎鶴蔵が 上衣を腕ぎ車内に掛けてるた島崎鶴蔵が 上衣を腕ぎ車内に掛けてるた島崎鶴蔵が 上衣を取りまった後島崎鶴蔵が 車中にて盗難

第二第三日

を実際では八日午前八時間上點で の挨拶が濟人で係長の紹介後櫃い の挨拶が濟人で係長の紹介後櫃い 張宗昌氏赴連

大 石

奉天驛の顔合

寶物奉迎打合

內紛解決 奉天飲食店

この問題に関しカフエー製者はその態度を決定するため八日午後三時から三光に参集し歌語の結果分離しるなければ部舗し監分館施を関していまい特徴することになり六時頃数骨した しかしにいいたのでは、 でいて なかつれが結局カフエー業者は部 なかつれが結局カフエー業者は部 はかの確答を保留することにな 全撫順軟式野球

「無順」十日より向ふ五日間全撫 スポンチ野球大會に出場するテームは廿八に上つたが何れも代表的

◆伊藤大石崎地妥議長 全満地委 郷合崎特別委員さもて宇垣朝鮮 總督に満洲事情陳情のため九日 季天經由京城へ

が場に於て旅順俱樂部員で歌歌組 を行る事さつた を行る事さつた 日英蹴球試合

港内遠泳延期
大将離旅
変別大将離旅
変別大将離旅
変別大将離旅

ななない。 は、現在になります。 は、またの如くである。 の如くである。 利同 春 計 六六二〇八町 ・ 数 料同 二六〇町 ・ 二六〇町 ・ 二六〇町 多数にあった 所が選定しい

ようである▲然るに

一月十四な出るせる。そして、根 一月十四な出るせて、會量全部の をやり、解けた欲人に分配するされたが何うか帳簿には全くそんなに さは記入してないのに、前呼は三 されを受験の古れから数したさ云 か不老長懿の「コシルム」さ云ふ たっかでする。 飲用で皮膚な

皆様しくなるやうなものばかりだ 題はれるほか、本物の癖をつくる せながら出て來た。

って来たんでする。電話をかけて 「便、たえ子さんに達へないさ思

源普上法念山川原旭華

東称は近く都低いる は、 東 では、 一般では、 一般 であったが、今回落線の継座歌正 によって膨止される事になり起任

餘名の日総個人の仕事が無いなめて五十
は义外線工事が出來ないので五十

大棟氏

經過良好

(四)

盤

· (本) · (***) · (**

會 商 田 原

法權撤廢反對の

委員が上京

吉林有志出發に際して激勵

日本総で、電燈房に数し高楽二千 一部返録をされて戦ったで来た 一部返録をされて戦ったころ八日 に完了したから義指金の使姿が無な に完了したから義指金の使姿が無な に完了したから義指金の使姿が無な に完了したから義指金の使姿が無な に完了したから表指金の使姿が無な に完了したから表指金の使姿が無な に完了したから表指金の使姿が無な に完了したから表指金の使姿が無な

遊藝大會

飲食店の女中にも平城を所持せら

百六十餘戸九百餘名が在住し水田観石山の郊外沙地子には現在鮮農 緒川氏に鮮農 ◆末廣町五ノ四 魚住一房氏三男 機關區問題で 聯合委員陳情

政明、総村曜一の駅氏は像ぶの法概能を受難院懐参覧さして三法概能を対する。

中 象歩きさ云ったやうに搖りながら 社に出て來た。が、社内を一應見 の棒子に身をなげて高いびきで聴 ですった。 を本は初めて憎悪の瞳を豚のや を本は初めて憎悪の瞳を豚のや

吉

林

仕事が手につかなかった。午 ・たえ子の姿はそこになかった。午 ・たえ子の姿はそこになかった。十時頃

氣持ちがした。

郎は脂肥りにはちきれるうな體を過ぎになってから社長の大山剛太

しさの事である

殿

たして生命に

見送りあり、日送りの中よりでは石外線領事で中よりで

春

あるやうに繋木に思ばれ出した。 大山家の「伏紫殿」であること 大山家の「伏紫殿」であること

たゞばくぜんさ大山商事會社と云

、飲 軍服費用の十四、五名より成る者 ため人質ここで拡表されたことを 中にて奪還した、周に睡賊は支那 附近にて十四五名より成る匪賊の は 中にて奪還した、周に睡賊は支那 附近にて十四五名より成る匪賊の は 中にて奪還した、周に睡賊は支那 附近にて十四五名より成る匪賊の は 大野 脱離用の十四、五名より成る者 ため人質ここで拡表されたこと を 東照費用の十四、五名より成る者 ため人質ここで拡表されたことを 東原費用の十四、五名より成る者 ため人質ここで拡表されたことを 東原費用の十四、五名より成る者 ため人質ここで拡表されたことを 東原費用の十四、五名より成る者 ため人質ここで拡表されたことを 東原教授 にして 腹股膨近して が表されたことを 東原教授 にして 腹股膨近して 変速 にして 腹股膨近して 変速 にして 腹股膨近に 大野 になる は いっぱん は は

本願寺の講演 三橋氏等過長

愈よけふから開始

安 夜北 開 は同代表の行れ、途についたが、途についたが、 慶絕對反對の運動 者記者俱樂部で

課金納入成績 も日本の外交は射に 々感激のほかはな

はらまいて、根場さ云ふものが合いやこれによって一代に数百萬のいやこれによって一代に数百萬のでいやこれによって一代に数百萬のでいやこれによって一代に数百萬のでいやこれによって一代に数百萬のでいかった。 に相場の他つぎである。相場投資・かだけでは何なやつてゐるのかよ 機能誌を地方の中産以上の農家へなすすめる「富致世界」と云ふ十 一 に見えるのだった、また實際機ではないさ思ったの、が事態のいでなく、概での動物に開いた場が「代質数」の黄色い洋の家が事態の家に使っかはとい様であるやうに基のなった。また實際機ではないさ思ったので、我大はあいさ思ったので、我大はあいさ思ったので、我大はあいさ思ったので、我大はあいさ思ったので、我大はあいます。

→ 自午後七時三十分 ・ 単校大賞正 ・ 學校大賞正 ・ 學校大賞正

ロボリタン歌劇夢) リ)(ロ)ピアーヴエのリ)(ロ)ピアーヴエの リ)(ロ)ピアーヴエのリ)(ロ)ピアーヴエの

水むし

◎新穀費なれば 最容載店になき時は 最容載店になき時は

一五三 龙

其他。あせる。はたけ。とび

さ・ひぜん・しつ・かぶれ等

めらゆる皮膚病はヒンター

少好五

市久方町五大連川柳紅 東京市外日春里町金杉七七二聯聯珠の友(八月號) 價三十錢、頭町 麵町四,五糖選獲得同盟研選(八月號)價三十錢、東京市外日春里町金杉七七二聯 B紀伊八十五番地沿洲農事 之滿洲(八月號)三十五錢 座四丁目五ノ一日本號)價五十錢、更京

視せず御常川あれ不時の急病に際して寶丹あるのみ他の一時的清凉劑と同一護身薬として缺くべからざるは唯一つ

必ず眞價を發揮いたします ●船車の幣に費州 ●関痛眩暈に資丹 ◆旅行散歩に資丹 ◆消化療消に資丹 ◆腹痛吐瀉に資丹 ○悪疫像防に資丹・○疲挙倦怠に費丹 ○気付薬として智力 ○飲過食過に實力 の氣分悪しきに實所 ○時候中りに野丹

◇咳込みに實形

放送り

大連 丁QAK

定

第四回)大連神明高等女団の一番を

0全國各職店にて販賣す

本舗 支 本 店 店 守 振替 大阪 五七七三九番 振替 東京 二九 八五番 振替 東京 二九 八五番 田治兵衛

キヽメ本位懷中藥 病菌を 三大常 力を 救急の 有; す

さやめるこさも出来ない。何さかいのたか、たえ子のこさを考へる を
を
を
を
を
を
を
を
たは
そんなここを
きべて
るる
を
を
たは
たんなここを
きべて
るる
を
を
たは
たんなここを
きべて
るる
を
たんな
これの

とれば、己の義務はなへないのださ 社がひけるご春木は直大山の屋敷へ電話をかけて、たえ子を呼び出さうさした。が、女中がいるい 市芝扁南佐久間町二ノ一八版・東洋三)百号 譜(野村胡田工博文館 関本十銭、東京市小石川版 関単さ親相 リロス博文館 関単さ親相 の名を骨) 慣六十銭 にんきん はんきん はんしょう いんしょう いんしょう いんしょう いんしょう いんしょう はんしょう いんしょう いんしょう はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょ はんしょく は

ろな逃山上を張つて、

寳丹の常用

うな社長の軽姿にむけた。今迭に 見てゐたのだが、今日はその裏に ときな

罪惡にみちた深夜がてかして見え

は、東京市芝属南佐久間町二ノー八 、東京市芝属南佐久間町二ノー八 、東京市芝属南佐久間町二ノー八 、東京市京橋三銀一大 ・本橋本石町博文館 ・本橋本石町博文館 ・本橋本石町博文館 ・本橋本石町博文館 ・本橋本石町博文館

標道町三岩波書價三十五錢、東

健康を増

外杉並町馬橘五四七柳樽(八月號)價三十五錢、 中线、大連市西公園町 一块機、大連市西公園町 一大陸社 の内二丁目十二番地國門の内二丁目十二番地國門の大藤太)支那時局の動力藤太)支那時局の動力を表す。

特に夏の家庭に海に山に

す

酷暑に乗じて

新刊级午

淺枝次朗儘

で傷つて來た。春木は暫く見えな で直呼び鈴を鳴らして、

(13)

思はず鳥がはづんで來るのだつたらうさ思ひながら腕がさきめいてらうさ思ひながら腕がさきめいて

て行はれた世界七ヶ國政治家會議については後

日

政から廣東政府系は新に次の如き、『天津特電九日韓』石友三軍の失

同俄に重大化せんとす



支時局遽 こよ

(北平八日登) 閣線山氏は去る五日大連な脱出と何れの地點からか飛行機で太下 窓氏の臍着さ日を同じうして居り山西の反中央態度表明から北方時間氏の山西入りは歯い決心と成繁をもつての事で響天鵬に加騰した融震氏驅家の運動が 西の反 氏の反中央監督を開き北方時局治収第につき協議した、なほ歴憲氏は本日午前山西省主席群任を表明と徐水昌

事は不可能で山西側が急激に進出せの限り急變はなく或時期迄この儘經過するもので激息通年前の狀態に選元し、後急消配の軽天派の緊張に一酸層が出現した黝で軽天派を現年前の狀態に選元し、後急消配の軽天派の緊張に一酸層が出現した黝で軽天派を駅へ入日費」開鍋山氏の太原歸來により山西、西北両軍の連絡は登固となり一八日費」開鍋山氏の太原歸來により山西、西北両軍の連絡は登固となり なほ馮玉祥氏も 奉天派にとつて 或時期迄この儘料過す

氏は近く運動で十萬元な搬へ撃天一条中学氏を東北資撫使に眩憺した、大学になっている。

の要求統一千三百萬圏の中総七百 高圏を総出する事に符牒で決定し

海軍豫算節約額

七百萬圓捻出に決定

『東京九日巻』 國際職盟事務局に 送附すべき海里現勢表は七日作成 送附すべき海里現勢表は七日作成

機夫されたが期後を

〇きなった

軍さしての最大限師を を設めて場合し、 を で能の状態に等しい様にも置くさ で能の状態に等しい様にも置くさ の能の状態に等しい様にも置くさ

を力を(は)て発撃良氏を反響派に を力を(は)て発撃良氏を反響派に も込むここである、即ち他込証動が を対して、こである、即ち他込証動が をある。から、一方のでは、こことをは、こことを表している。 力と奉天派の抱込み 出動して奉天軍に脅威を與へる近で商襲氏の歸路を斷ち大同に 氏が山西へ潜入したと登表した 閻氏山西入を 副司令部發表 大後海豚県常園な協出と八百八 一萬園の復活な要求してゐたが、 一萬園の復活な要求してゐたが、 一葉園の復活な要求してゐたが、 一葉園の復活な要求してゐたが、 一葉園の復活な要求してゐたが、 一葉園の復活な要求してゐたが、 一葉園の復活などのでは、「」

軍部の

込主張する

商震氏遂に

地盤な確保すること

時観會した、斯くて十日の準備委換の郷京町に東全都に賦金部に直る歌踏を換の郷京町に聚全部に直る歌踏を 日登り思給法で正に関す

から改正家は根盤の修正を見んさ は他く送き服せんさの意味である は他く送き服せんさの意味である。 恩給法改正と陸海軍

ブ獨首相語る

文部等學制制度吹入學高等師記學校處

「完全EL一致したが電部の修正 東京特體八日韓」製絵法吹正に

軍部の修

正意見

獨伊親善高調

さめる。 は勿論である。 は勿論である。

れたる山西に叛する程の義理知ら

か窓に融震氏を撃天者の持ちそうな心理 てれに今まで同葉だ 東ではい、それには、それには りずる、そこへ復 あられるのか、心

西を中心に北の

大連から觀たる北方時局

任年大連にゐた商震氏

反蔣、反學良派の結束愈よ鞏固 のか、毎一出人してゐた、総談の 常年が、何處から総介されて來た

本の糸の二人

る時は袁世凱の廻こもの親された

サ 歩いて居る。
はないのである。
はない、河ケ螺の蜿蜒は紫紫に放てい、河ケ螺の蜿蜒は紫紫に放てい。 殿にゐる老父が病氣で」……で

一数な見た今日にあつては、二院 やのであらうが、反撃、反解答派のへのであらうが、反撃、反解答派のへ

本おごった監にある。これが内さ たこれらの反感を振いた、外さは? これらの反感が今や一時に學良 氏を攻めて居る、反學良派さ反称 氏を攻めて居る、反學良派さ反称 一 近西を中心に一致壓縮した二本の 理整はいよく一種り締めた。 「現象にいよく一種り締めた。」

ロッキの、三百人にはあたりませ がて、見せないここにしてるるのかて、見せないここにしてものとりに

を觀る 秋田の藝者學 节

何男をこしらへ

で恐慌を楽しての結果らしい。

佐藤中佐赴任

常務委員會

1.800CC(- #) \$5.00

少からの興味がた

知事の岸本夫人を説いてその変でし 全國の新聞に喧嘩されたのであ 愛國婦人會が藝者學校な經營

に赴くこさに決定した、宣撫使の 性務に東三省における反蔣派を密。 接な職終を取るさ同時に響天軍の 接な職終を取るさ同時に響天軍の

奉天軍の

後方攬亂

廣東政府計畫

不験あった生徒が

然ら和崎安見がめり触され

にかへる機會を興へるだけでもつかり環境からはなれて、重心

即を申出でた人が多 急になくなり、

これにのいて極力の が着事校の趣旨は、対極な一 では観者さしての配他を保たし では観者さしての配他を保たし 裏は士夫人さして立派に家庭やうにさいふのである。

第四十三職隊所に變態を配ざられば、まる六日正午より歌奏歌とですが出發にのぞみでは任の途になりました。 作年の三月期活の出張可から來任したのですがそれから今日ま足繁次の諸氏及び大淵東京支社是ですが長い間の植民地生活から來上田絮暢、良瀬識語、経験昇、荒ですが長い間の植民地生活からの報告あり、豫繁問題及び事業上です、在任中駐浦側側の更送等の打合せかなし、午後二時散會しなった。日本には、大温なく重に得たは全く在浦の青標で、東京支社費。 張宗昌氏來連

河村參謀長日程

王家楨氏消息

グ博士の要論に應じしたたさ 十日午前九

東亞の謎の

挿畵

伊藤順三

時半大連港外着豫定 民(関東軍司令官) 夫人 愛慾受難二十七

棉の増收豫想

前年に比して百六十五萬俵

▲ 酒井周古氏(憲兵小佐) 同上 ◆佐藤要氏(陸軍中佐) 同上 ・ て内地へ ・ て内地へ ・ て内地へ ・ である。 ・ でる。 ・ でる。

「そこで 僕が井の名の下に、文部 「三百百人も ごんなこさで

は全球の シカゴ取引器は 大れ市場は猛烈に解落 大れ市場は猛烈に解落 大れ市場は猛烈に解落 大れ市場は猛烈に解落 大き一帯なり出現引

一弗安

一五萬二千俵である

近く歸任

たからさ

着の下へ還入つた。

佐藤駐白大使

である

優、それにもう一つふえた。 で概念學校に人學した女がある、へ 女を有名にするものは、女経、女 女を有名にするものは、女経、女

反對運動を起す高師文理科廢止

新決議をなすさ共に参が館に運動 なほ高師卒製生より成る者深會も らの女優の難かうれとがつて居る で居る、陸軍硬化の炒めにびくび で居る、陸軍硬化の炒めにびくび 青年職盟は極めて真面目なる、

各地と連絡目的貫徹

の手がではない。 利機屋や、新町の手がではない。 帝國主義である、登城もいゝが又高樹は克く風にあたる、それが

犬がある、蛇角さは刺激性薬法験の対いた 高い木もい よく事が利いたと見えるわい。

上海に航政局

各地に分局設置

る事さなった









以笑が破戒尼 小退屈男

斯波顧問歡迎會

で は南部が心臓するやうに云つた で 有より (関のがが早いだらう) かう云つて先刻から洋服の上着 の、ボケットへ入れてあた者の手 なった、ボケットの中で鑑かせて見せ るよ」
あよ」
のがへ足を運んだ。その後から次のがへ足を運んだ。その後から次のがへ足を運んだ。その後から次のがへ足を運んだ。その後から次のがへ足を運んだ。その後から次のが、武村の荷の手が、素早く支い、は、大きな、大きな、大きない、大きない。 北平に滯在中の王家相氏は張學良氏で會見の上一味日中に着琴の曲 可いだらう。いよく 慶選失職す 上海のナイト 白唇の譜 唇形を求むる男! 野村胡堂 色鮮かに咲き出た歡樂鄉の色鮮かに咲き出た歡樂鄉の

チ機出發延期

大きなうなのは神天氣はかり、 を思惑よ的、現山も、、変変を強いという。 を思惑よりなのは神天氣はかり、 を思惑よりなのは神天氣はかり、 を思惑より、他が をスタンパイした宗谷鬼は作業が をとうなのは神天氣はかり、 は、かった。

の行く時に随つてこんなに時他の行く時に随つてこんなに時他

脚白い脚の間からそんな言葉が鏡 熊手の様な碗式な掌が鶴の獣を ぜ」
「オクトットト危れいくし」
「オクトットト危れいくし」

熊子の様な頑丈な掌が他の数を押してオフトフトト危れいく」

作業船宗谷丸で旅順港ロへ

放順の人転し、 つついてゐるニッポンの軍艦よ、 ・

と は、りを吹く、作窓気の目色が 像のアイにしがみつく、大きなウ

取付けが結りエヤー

違ってくる、セット

やがて宗谷鬼は六本のローブで六

10 - 八日 愛】 東洋助 地に無事者いた

ムまでは樂

y

ーク機は

一九尋の海底に横はる

シス・べ號を弔し

ر ج

生藤加

低さ腕かな粉取のプロフィルでは燃雪を出してスパーへやり始めた

『ノーチラス號にてウイルキンス大尉七日曜』けふは少しく波が 間だけらが疑視せぬだへだ、そして十日夜はスピッペルゲンに向 間だけらが疑視せぬだへだ、そして十日夜はスピッペルゲンに向 間だけらが疑視せぬだへだ、そして十日夜はスピッペルゲンに向 で常覚波の側かな凝か起づてゐたから縦内で毛極接被導像に まで常覚波の側かな凝か起づてゐたから縦内で毛極接被導像に まで常覚波の側かな凝か起づてゐたから縦内で毛極接被導像に までまます。

を生替我後、國際利利の報告また ・ 生物ので、東京間二千里走破の空前の を大、東京間二千里走破の空前の

る、四百米リ

二千哩走破選手を

船油後にノームへ

航空法違反

探検準備を進む

関東職徳研主部にて來る二十日午 原州内中等學校聯合水泳大會を 東州内中等學校聯合水泳大會を 東州内中等學校聯合水泳大會を 北原一中、同二中、商業學堂、 大連一中、同二中、商業學堂、

愈よスピツベルゲンへ

海靜かで

シデロ島に着いた、来飛行家クレ

から「陸軍大粉の顔を見た

渝

大勢日に

に非なりだ

思倶樂部乃至はファンより非常な 競馬法に事じて関東職管下におけ

軍人は一番六ケらい立場にある

鉈豆煙管で莨ブカノ

| 想ひ出話

であるので、今期競場會送には必で数がの響である、なほ今風の施大を根監加へるらしく、他の職祭のかられば前述の好く都を根監加へるらしく、他の職祭のがも根監加へるらしく、他の職祭ののがも根監加へるらしく、他の職祭

菱刈将軍ける離滿

不良の学の延期した問明日

ク氏機シ島に着

(=)

术、米兩氏訪日中止

た、局女は正田まり江さ云ひオーストリーウイーン生れ大正十五年 十日午前十二大下市内に生活してゐるが、學校 際儲される、して市内に生活してゐるが、學校 際儲される、では一艘密局と相談の上入學を贈ってた。 の形然に刺親されてか、八日が脂の形然に刺親されてか、八日が脂は、質に刺れてか、八日が脂は、東京特體九日難、ジョンソン燃、すことになった 十日午前十時より沙河口間町クラープに就て目下來連中の総智キュ子ープに就て目下來連中の総智キュ子 越智女史講演 あす沙河 ロで

らくになる 白玉山參拜が

歩道新設で

來る競馬までに

規則を改正する

複勝式を併用して

過剰額配當を行ふ

無年的我山然東に際し自動車のたが難乗を得たので、常原ではこれが難乗を聴きれてるたので、常原ではこれが難乗を聴きかり、七日関東職より清かがで地路をの結果、大性の水技師がで地路をの結果、大性の水技師がで、右野道の新設を得たので酸々管行に養手する事さなった、右野道に現在の南京という。

日火

策戰當 一日の 快勝は つた爲

【東京特體九日盤】米監督キツバ

米監督語る

松澤監督談 の四百米リレ 20 松澤監督談

をオート生後二ヶ月へ批ぶた到曜 一番な関節大一 一番な関節大一

尋

が此種目は大きな

州內中等學校

水泳大會

大阪脳病院に

ましてある、響線が徹底的な斑点 でな為すなら伸時でも融入に立つ でな為すなら伸時でも融入に立つ でな為すなら伸時でも融入に立つ 患者虐待の噂

局さら抗敏問題の進展をはか 地內外內高級上物 配で勉の御 達 り 見 が と が と が 大 用 冷西瓜 語三七五六

日下齒科醫院 フワザキ果実店 最古の歴史





四日で、「嘆きの都」 毎に聞る名小戦(キング連曲 しき、彼女か守る白面の青 らき、彼女か守る白面の青 ろ

河津清三郎·望月 徳川良子·水原玲子· 千木時代特作映圖。 一代田の及 牧英勝主演・・ 職化離先生の流瓶の 9

短期公開 公開

ジ嬢飛來に刺戟されて 一女性飛行學校に入學 船で降米に決した 東 回 横 數 京 濱 0 0 3 は一層その非難をまわかれのさ 2 四 2 五. 多額の駆 六 七 八 界に多大のショ 天洞最後 九 『幸天電話』 なた村松天津、在 送る響でマラソン の氣焰 中央廣場記念碑

学加資格 満鐵社員に限る 学ームの制限 總で強敬制に依るで で添都、料理部、炭嶼部、工事部、用 で洗剤、料理部、炭嶼部、工事部、用

金満線體育ボー

大會

愈々

十日初日

午後六時開

計

場日所時

奉天國際運動場

れてゐる

主管

日體

報育

軍舖四五三人者

伎

送テスト良好

デルリオ嬢、メリー嬢

卸賣人組合員

關東廳に陳情

雪洲らの挨拶も聞ける

小國際中繼の

せしめで裏を暗黒化せしめんこし せしめで裏を暗黒化せしめんこし では、ゴム殿工、乾世局殿工、整世局殿工、整世局殿工、整世の手を延ばし活動してぬた事登をした

連軟式野球大會

機放送はテスト良い

ながって自信を得た、何れにしても 今日の快騰は米國の策戦が日本の が明れにしても

米選手は場馴

れしてゐない

施本社後援日本観式野球協會滿洲立 | 本社後援日本観式野球協會滿洲立 | 本社後援日本観式野球協會滿洲立 | 本社後援日本観式野球大會「酸々」 (代見臺小學校球場) (工真球場) (工真球場) (大連商業申場) (大連商業申場) (大連商業申場) (大連商業申場) (大連商業申場) (大連商業申場) (大連市業申場) (大連市業申場) の故國に向

第一日の組合せ

十日四時より一齊開戦

荷着

甘栗太郎

に連れ電線艇工のセネストを政行。 ・ 地震中のアジピラ事性は戦略へ がに連れ経々擴大し、現在迄の椀 がに連れ経々擴大し、現在迄の椀 がは、連れ経々擴大し、現在迄の椀 平壌のアジ事件

で急いである

一部、気がアラックシイでク 日午後七時半の関連びに付っ訂正日午後七時半の関連びに付っ訂正

への御下命をお待ちしてゐます。

殿質懦落の折柄小洋鏡

地雷五町蔵武 店 替 爾 屋 正 番五三二四話電

日本人の開替は日本人

業開店替兩

つどうでした、徹底まで行きま

天衛衛星

少しふるえてある機だぞれる、一本の針の機に駆揺した他の身勢、機像へのスタートを前に 簡のあるさころが破壊で、エエ アッチにおいてゐるアイが艦 の税既から想像して波の

の尻ツ尾に儲るさ

高面物度 公荥

能九九三七語司

石原森森森

道而来の十一日午前九時大連要華天に移電仕十二日午後四割し御通知に代へ謹告仕候也相叶七十八歳の高齢を以て八月六日午後相叶七十八歳の高齢を以て八月六日午後四十七十八歳の高齢を以て八月六日午後四十七十八歳の高齢を以て八月六日午後四十七十八歳の高齢を以て八月六日午後 監設督計 横井建築事務所 # # # # 野井

青島牛肉罐詰めい な煮 生産等消費の と野外に好適 行 洋 治

最高の品質 むの者

劇給女。子信月 乞御期待。嘆きの 都 派一信義橋高·子信月五

中込方法 出場チー代表者名に依り消日

三龍野立夫氏作女

給八場 演

一等三。〇七圓一等二。圓二等一

英艦サ

號の

度のやうに思はれ出したの」 に水車小屋が窄い、減しい、活 さの思、は暮つて来てれ。よけ

ゆき掘った。

さいふ今間である。

山にも 海にも

セルが厚司

く目尻のさがった五十婆の



(150)

「小さい時から江戸の版は随う脚 はなし、瞬画のはなし、脚門の はなし、瞬画のはなし、脚門的 なし、対版本屋敷のはなし、脚門的 かで、美しくて、お金が澤山あっ かで、美しくて、お金が澤山あっ

李 王 华 华 步步步步。

するちやないかれ」 水のやうなお薄ちや飲めないと呼ば、こんな

□• Ξ• □

一五

ビレ少將北極探檢

0

七角

調の十日以十六日な 活



高定 りん病薬 度を除くし

書號を設表

マヨネーズ

兒童用組合文房具 サンエス萬年筆 代生度とした。

-等桃山參拜御招待 金五圓也復興債券



磐吾平椿油

連鎖省心質機能がごや油舗

東ホテル

Porunswick

尚皆樣の御勸めに從ひ新舊蓄音器の御取替も致 純米國製 し居りますれば何卒御利用下さいませ ブランスウヰック蓄音器各種

対策・蜂プドー酒の包紙 一組とし 富級電號は各組ル二枚 (一般に関する)をし五百以を以て 共通とす 向應意 項を御明記下さいの裏面には 必らな 二、アナタの御住所御氏名 一、御買入店名住所及月日 昭和六年八月末日 御住所氏名の不明瞭なるのは無効 必らず左記條 のレツテ 逐一年隆盛に相向ひます事は偏に御得意様各位

各種多數入荷致し同時に

今回プランスウヰッ

ク蓄音器新型

値下斷行致しました、

御散歩の御途次に

も是非御立寄の上御試聽御批判下さる樣御願ひ

申上ます

ます、

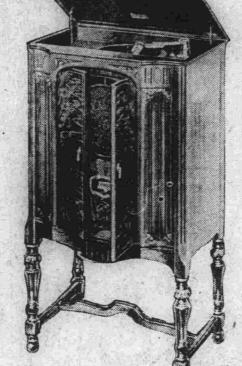
就而御禮の一端にもご存じ

の御引立の賜ご深く感謝致して居る次第で御座

弊店儀

御

挨拶



減 價 販 賣

健康の不安なし

派ノボカ販賣

米國ヘリコン 著音器米國ブランスウヰツク會社

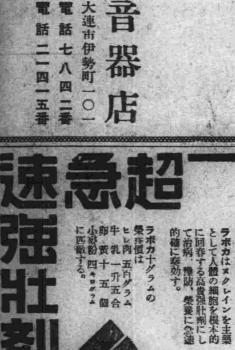
上記の登定です

客様本位の

切の御頭食は

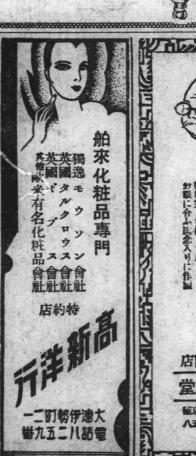
は一等最品御送

蕃 音 器



本賣藥會社支店

日本人 金三四四









別アノア

日

のります 格安値段で の

發

賣

の滴

要菓用として**サラダ**油姉妹品極上日絞油を 製菓用として**サラダ**油姉妹品極上日絞油を

油

四三詰

あ 出山 え 野

ਰ

切いらない資來煮持つて、

越 え

全く驚きましたよ

のききめには、

頭痛にコテキメンですな

み **ふと**屋 ⁶⁰⁸⁵ ²²⁶⁶⁰

允 夏 酸 松下商店京都出發所 校 下商店 松下商

凮住 流味

印刷一般 東亞印刷解式 南京虫軍全滅 電話た三 ·活版· 九六 四大 石版

矣"石"

大連市近江町

語らしめよ

來ます

現品をして 下さい 品の良さがお肌に生きて やはらかで爽やかなお使 心地を染みくとお嗜み 馴染む程眞價が現はれて することは出來ない 科學者も現品以上に說明



寝"食!外

1 3 3

出跡り

商林州盟師本

純粹度99.4%



服はコルヤカに

人院隨意 院長 内田鎮一 建肛門 病院

材料、皮革類、羅紗、毛布及び材料品、時計、文樂品、化粧品、染料、食料品、農工具、其他金物 瑞西ペーゼル化學工業会社 総代理店標度 フローラー会社 其他歐米雜貨、特許品等何品に

進物の御用は質の藤井卯へ

西公園町三トキワ小学前



南京政府の悩み

朝鮮事件と排日對策合

お、大阪地する所によれば、蔣介石

臨み問題の演散の辯明をしたが、寫真は官邸支關の府陸相は六日る四日の軍司令官及び師團長會臨の演説で問題を起こた原陸相は六日

問題を起した南陸相閣議へ

石氏外遊か

李景林氏は助命運動

黑龍江軍引揚

停止を强行か

政治的解決望みなく

一後江支拂豫算

て群、張剛氏から次の如く に入りついあるが韓後嬰氏 に入りついあるが韓後嬰氏 不友三氏は速に下野外遊すべき

孫、宋、龎軍等の 帰った。ハルの 【北平特電九日發】目下 始した、一瞬日中に原駐屯地にチ、ハルの第三十旅は『揚げをチ、ハルの第三十旅は『揚げを北平揚げを

一様軍を刨脚すべく行動を開始した「鐵州に銀鞭した、荷取は町の郷軍なら解決すべく決定し目下」『資明特體二十日聲』張 こて孫阿英、宋哲元、屋城郡氏等 駐屯地 雑軍解決を圖る 平漢線の中央軍動く

六年度豫算節約 三千萬圓程度か 蔵入不足補塡に苦心

能まる機能で一方能入の被逐見機に に反し機々三千萬個見當の部級に に反し機々三千萬個見當の部級に は、一方能入の被逐見機。 ささもに最近に至っては井上蔵 を建て大蔵。管され大に記記局 を建て大蔵。管注が最もできた。 を建て大蔵。管注が局と各省さた。 で変で、数ででは、一般においたが、一般においたのでは、一般においた。 で変で、数できたが、一般によいたが、一般によい。 できたが、一般によいたが、一般によいた。 できたが、一般によいたが、一般によいた。 できたが、一般によいたが、一般によいた。 できたが、一般によいたが、一般によいた。 できたが、一般によいたが、一般によいた。 できたが、一般によいたが、一般によいた。 できたが、一般によいたが、一般によいた。 できたが、一般によいたが、一般によいた。 できたが、一般によいたが、一般によいた。 できたが、一般によいた。 できたが、一般によいたが、一般によいた。 できたが、一般によいた。 できたが、一般によいた。 できたが、一般によいたが、一般によいたが、一般によいた。 できたが、一般によいなが、一般によいなが、一般によいなが、一般によいなが、一般によいなが、一般によいなが、一般によいなが、一般によいなが、一般によいなが、一般によいなが、一般によいなが、一般によいなが、 の能人不足補城の苦策さ が学機能がかかくて七年度 単れてある被結局政府は此の六年度 地れてある被結局政府は此の六年度 の本程度

與黨の自動車

交通網政

新規公債で實施を申合す

注目さる政策轉換

おるが、場合さ様手に使って、腕をなが出た。もう六十に近い父では

らぬのことはよくやつ

うださするさ、自分はご

でなば、それが進賞にき考へられてならなかった。若い時代かられてならなかった。若い時代かられた父は、こもするさ、その昔のく

をいっています。 をでしまうな概念を感じた。 をでしまうな概念を感じた。

B

大大 (上) は (大) な (大) は

考へても萬蟹山事性であって、同

御殿及び獲を終

満洲部隊に

ご守備隊 父を跳へる! して運作へ翻集しよう

欠を訴へる!---それよりほか たばかりで、彼女は卑皝きのなら

「私、そのことこうではいる何があるしかつた。

観してやって下さいし

盛割當や協議 處分と

(刊日)

問震軍は山西引揚げ

石氏口大連落

フロシアの

一、任期滿了迄即 と

迄即ち今後十月間繼

獨貯銀支拂

されてある

の意見 の態度

家族に會ふため天津へ行く

セミヨノフ將軍語る

もさに滯在中のしばなられこさだ

説が撤職して來た事は極めて注目

執るもので右修正協

でではいる事でなり全ドイツの政権により動成を表して行はれる事でなり全ドイツの政権により動成を決めてしまり動成を決めているので国内はが論答国の注が、 ロー・アロシア地方議會を制しれる事でなり全ドイツの政 ロー・アロシア地方議會を制しれる事でなり全ドイツの政 ロー・アロシア地方議會を制しれる事であるが一般接続に対している。 一般投票 獨政界に大影響

か決するにあり者し後者が可決さ なり者と即時際散をが決せて現職 かのはにとトラー一派の國際社會際及 が個民際を支持する事となる調である 治を支持する事となる調である 治を支持する事となる調である 重り一定の支機制限を附して燃 過去四週間

伊首相答禮

1-氏は容禮の意味で九月中にド

本日完全なる支援を開始した 本日完全なる支援を開始した

のだ。また確な膨胀は極んであな

内相が承諾せ

省廢合問題解決

産業省實現に伴ひ內閣改造

内閣は東び吹遊されるに 一致する端とは大性一致するでく若し旅粉が鰹山のあるでく若し旅粉が鰹山のあるでく若し旅粉が鰹山のあるでく若し旅粉が壁山の地では、

立一

さ、彼の女は握へ目にいつた。

合問題の

Щ.

ロみづき

さ、素美は、顔切れのいく

低を感じますから、このここはは

「起はきつき、それは父の仕わざ

「あくまでもやつて下さい」

西伊

さ、紫美はいった。

『東京特體八日整』大鵬演襲支社 を ・間、時餘態酸するところあり、幣 が、氏は腕る た、氏は腕る た、氏は腕る 速の答である。 事務打合せのために行くので別事務打合せのために行くので別問に働いてゐるので我々さして倒に働いてゐるので我々さしてしまうかしくしてあられない、人

選子は、もさの小粒理量の二巻は紫膨さうなづいた。 大は紫膨さうなづいた。

「ですから、まだはつきりした

さうではないかしらさお話したまではなかつたんですが、述さんに

歴』【大阪八日登】大株総級問題の歴 に對と静低神出で事代はこれにて に對と静低神出で事代はこれにて 大株紛糾解決 大淵東京支社長

ンドンに 開催 日より一九三二年六

戦債支拂猶豫に關す

六ケ國専門委員

感はあす倫敦で

東拓に金利東松の金利野ドけがについては繋がらを利用による東三要路に要職して あるが今回不動産組合からの依頼

時局とは無關係 田心中が、然にグラリを懸って、 世の中が、然にグラリを懸って、 中でも大溜の響子や、変速した。この 野になったやうな感じがされた。 中でも大溜の響子や、変速した。この 野路を進れるよう、ハッさした。 できまな流れの暴力感慨らしい見思い外の世 を選ばした。その時間になったのは を選ばした。その時間になったのは を変したづれて。 できなが、だい人間界い外の世 できるといえばいる。 できなが、だい人間のできれた。 できるといる。 できると、 できる。 できると、 できると できると、 できる。 できると、 できると できる。 「父でもきつさ説へま

では、その鋭いいびのやうな のだらうかなごう考へた。

馬

る事さなった

縛海狂さ成ので 藻屑となる から手 上船タ 割の

エス・オー・エス S・O・S

個奇趣味に投ぜんとするもの なが本書は徒らに世俗の

でで、此點牧逸馬の をでは扱い方 でから面白くっ でから面白くっ でから面白くっ でから面白くっ でから面白くっ でから面白くっ でから面白くっ でから面白くっ でする。

・ 遺命のSOS ・果して彼女は ・斧を持つ夫人の像

さ、新吉はいった。

はれる。 はれる。 はは、通常が悪ではに、 ないはれる。 はないないはれ、をである。 はないないないでは、できてある。 はいはないないないでは、というないのはないでは、できてある。 はいはないないないでは、できてある。 はいがいななが、プロレタリア・できである。 まった、歌歌には光年アララギの。 ないして、脚で自分の顔像を眠み、 がな人々によって或る管理が用います。 できてある。 できてもの。 できでもの。 できでもの。

たても見ることが出來るであらう が概な思想確認数を我々は從來 が概な思想確認数を我々は從來 でも見ることが出來るであらう

現實の意味

理機能や電機能や電機能の処き、成づるのであった

ころの背職職・ 見解が生れるので に変そのものとみな質在さ見るさ のここな見出にするき、

が一般であって全く異った激素を形ができるできるながいっち中

するさ考へられる野飲の必ずしも

な難はないならば、そこには必ず、 我々が多くの場合の經驗から、

であらう、職職に上の考察から推

黒ずんだ油

吸つていってするのだ。

「東京八日祭」 関東地方電力の深いでは、日本電力の選鉱安協

邀歌國民州交融會にては八日朝部

禁止

電妥協成る

日本人ご商租

ルリン競技場を改築 ルリン競技場を改築

東北農商銀行 職中の東井農融銀行はその後 た然いで整製を開始ではその後 を然いで整製を開始ではその後 を然いで整製を開始ではその後 を然いで整製を開始する響であるが というをであるが というを表に大連、北平、大津、ハ ルピンその他三十ケ所に準定され てある『奉天電話』

日

章である、我等の宗教である」 ・中山陵がある。除りにも偶像 た中山陵がある。除りにも偶像 が大仇氏は「孫總理は我等の本 の本

中心、加藤二監督者より終続の報 はいやうであつた、加藤智部 はいやうであつた、加藤智部 はいやうであつた、加藤智部 はいやうであつた ならいのであった ならいのであった ならいのであった ならいが、午 にある はないないではないではない。 こと、なったが、午 にある

朝鮮事件抗議は

十二、三日頃提出

余の公使任命は過渡的だ

蔣新任駐 日公使語る

輸送された、一行は変 他の着物は八藍の帯場 他の着物は八藍の帯場 がは八藍の帯場

說

の我警官隊

内以行十五

迎歡書投

すらさは個中

八連輸出の

で語られの事程左

◆ 総送滿蠟の概當の地位にある方で簡地に鞭ごられた人があります、然しが三四型師つてあります、然しが三四型師つてあります、然して記せに鞭ながなに最を引達れて市中を観示するのですが此たの内には惨重の悪いのが居つて 人石橋生

◆ 郡共は無論個人の趣味に経立至 のて見や解さ時で事は好みませ ん、熱し此の市中でこれに高い 系脈接護ければならり機な危臓 系脈接護ければならり機な危臓

を電域します、相管などの者ださ社会ではア

ういい加減で飲めて

暴動の起った原因さして次の如

長春に全部引揚る

武波署長から勞苦を謝し訓示

危険去るとの理由で

害事件に對する內外宣傳に關す 窓はないならに親から暇送キャンノ〈ワン〉〈言はせて喜んでは、 の者は既りられませんがも知れませんがもます、 祝共の君になざは夫がります、 祝共の君になざは夫が

意するやうにとたら如 人野離れた處にでも任 の迷惑を及ぼ

た は しまり であるたけで他は何れ をであるために 一般の で 一

、且つ其不當なる事に懐いる灌水取入口の地主は、はる灌水取入口の地主は、は一下間を要が針展側さしては貧乏で、

切自發的絕交に關する件の日本人及び鮮農に土地商租一

昭和製鋼所問題

高級監系の昭和整綱所は関東州内 四日夜間拠へたい、 こなり安東は融議外事部員が會合 事の起る事は素が、こなり安東は融議外事部員が會合 事の起る事は素されている。 こなり安東は融場が事がは関東州内 四日夜間拠へている。 こなり安東は融場が事が見ば、意識さらても目では、 一般のでは、 安義兩地運動を開始

てゐる『安東

本庄軍司令官評

『天津特體八日韓』 監地の大公報 一、二の瞬日黎天融議に続て課催 は本庄關東東記令能について次の に決定したが今職合會は之を現て 理を記事をご覧抜きで掲げた、支 定期総會を膨止し繋外施重要問題 有の 日本は本月二日正式に陸軍の定 あ、総谷地の拠出職業は本月末ま 事事参議官に轉任も、後任に第 中本は本月二日正式に陸軍の定 あ、総谷地の拠出職業は本月末ま 事事参議官に轉任も、後任に第 中が、出席の有無は九月十五日まで の表記を表えしたが、其内に の、出席の有無は九月十五日まで の、出席の有無は九月十五日まで の、出席の有無は九月十五日まで の、出席の有無は九月十五日まで の、出席の有無は九月十五日まで の、出席の有無は九月十五日まで の、とは注目に値する、本庄中 たこさは注目に値する、本庄中 本田外人數 高額除職地を除く在留外人數 の解し の解し 日本内地人一、〇1七、朝鮮人 一、三七〇、英國人二一八、第 四人二二七、米國人二、佛國人

というに、明かに接触を

天津大公報が掲ぐ

職路を受取つてゐた烽め、工事中より無勢級の驚時觀震脈から概念。 経棄の申出を受けた緊知事は之 で孫は之を吉林省政府に弾出でたのである、省政府は鮮人に難して ついては際階してるた。

。毒性

赤を奏し、その地式

…加藤武雄 大佛次郎 濱村光治 磯村野風 ●歌舞伎座八月興行上演中

增真~姚公大計画

時年十月より本年七月に至る十ケ が、豆油、高粱を除いた他の諸親 が、豆油、高粱を除いた他の諸親 が、豆油、高粱を除いた他の諸親 が、豆油、高粱を除いた他の諸親 覧は大に注意すべきものである、 たさいふ(中心管部報告)この事

の整理ななず由『奉天電話』 雑穀減る 本年七月まで

十五リ

1つの國家でもある。萬寶山事俗も一点 一種を選の現れであり、又支那の一本 一種では終て支那雌における熊人勢動で

である。支那側の際道に堪へ切れてある。支那側の際道に堪へ切れてある。支那側の際道に堪へ切れ

(那の重要國策

Œ

萬寶山事件の一考察

介

兩鮮農壓迫は

た吹き込まうさ云 3 ***
「一家・歌田の歌高歌式内田俊」
「大々十歌名、『西亞町は満州殿」
「大々十歌名、『西亞町は満州殿」
「大々十歌名、『西亞町は満州殿」
「大々十歌名、『西西町は満州殿」

こさに終始する戦りにおいて、その影響が素材能な現態を振動する

でんだ神しなどをう

れてあたざる

はいるがある単輪をはしらせているがある単輪をはしらせて で黒くひかつてゐる。 では、とは家とない なで自己なともに なって自己なともに

で大氣の顫動を吸び

、取ッた自色安徽山「われに織欽敷 中のモンゴリヤ戦あり、一版事で 大郎が勢のように続つて居る 本所 をいなア」 本が機関警事れて好職 でも、美麗とい五色の版が、イ では西に、美麗とい五色の版が、イ ではかが、イ ではかが、イ ではかが、イ では西は、大田 ではかが、イ ではかが、イ ではかが、イ ではかが、イ

製作歌劇そのもの とこと といる はずも

Tれ世紀の戀人のごさく佇つて のか繰りのボストさ覚柱さが のか繰りのボストさ覚柱さが

のる、素材能なる

ってゐる。

産であるかな

経過機ぐるま… 青川英治 ・経順制 いる ・精山健堂 本號より愈と連載!

画儿家儿



高 り に 開

の食堂王、加藤清三郎氏の血 江戸川

第一間にして既に全體者を解すする前台・「素晴しな」となった方は、「見よ」解決にして指標、転封にして確認、なべき大力就! 見よ! 解決にして指標、転封にして確認、なべき大力就! 見よ! 解決にして指標、転封にして確認。

人白蔭

三郎

に爪跡を残すもの一株的 殺人鬼と謎の苦

美談の主を訪ねて
●短調子子女皮の本多房事さん
の作用の出女學校の小児田青年版
年安君

大野館の樹を総な符を製好の概製萬華館・資在有名人多順ない。同時は一般に不合きの概製萬華館・資在有名人多順ない。 3

0

よつて東都一流の大劇場

4 V.

日本の一にも無風も勤つたのである。破者で、「は世典一様は、芸年にて十一風、又称ケ様

高行の事だけは、是非遭って見た無理があってはならぬが、然と感

出來なかつた。

が、悪高総走の目的な達する事が

十日の競、松本について、

江口滿鐵副總裁手記-

 (Ξ)

心と呼いばれたので、野心脈々、午 線像さなったので、野心脈々、午

型へた。後期するで、今期出費も 理へた。後期するで、今期出費も

着 河津嶽太郎 一分十二秒 木國際新記錄)

一着 フランク ヲルト

四百米自由型

ユラ四分五

日本ア

ブス

穗高逆縱走

日

百米背泳と四百米リレー新記錄

左の近し、様に見る盛況である、地、様に見る盛況である。

佐藤選手遂に

13663 ++
2
2
3
1

催を得

氏、鎌田淵助八その他主客合せて 搭徐と一好の飲ん歌とた、庭谷忱

唉かせ十時ごろ散會した

十三名であつたが中にも明治卅七

留置場から結納

村松天洞の花嫁御寮

浪速ホテルの女中お響さん

大連中華

生水泳大會全面大樓

ールで



二點をリ 第二日七日本優勢

得証日本二十五點、米國十七點、差八點、日本優勢を持續す、なほ女子百米突自由整に於て森隠はつ本國際新記録を四百米リレーに於て日本チームは日本新訓録を作り第二日目も日本三點をリードを翻明治練宮外苑に於て第二日目を概信とたが日米背泳に於てウオルトン選手湾津殿軍さもに日本及び日明治練宮外苑に於て第二日目を報信とたが日米背泳に於てウオルトン選手湾津殿軍さもに日本及び日明治練宮外苑に放て第二十二點が八點で日本リードとて居た日米野流水上競技大會は八日午後七時十分より引鞭さ東京第一日十三點が八點で日本リードとて居た日米野流水上競技大會は八日午後七時十分より引鞭さ東京 口米水上競技大會

子戲は一分十二种二の日本國際新記録を作る

百米平泳

三着 マニユエルラカリ 四分五十八秒八

将—消費糾合B組

者の上、動々決代すべく影悟して その目から終二週間、銀號五時か ら七時まで、明治練宮外苑又は代 々木の厩等に総智に出かけた。ま な木の厩等に総智に出かけた。ま な大の厩等に総智に出かけた。ま 良好ならず、障路とたが、遊々職のため

日分も年來の俗願の事さて、

微を強ったり、微度も岩 を用ひたり、

の職上に職 を無づかつたが、果せるかな、 新金色の明月を前標 りいれのは、外が七ついれのは、外が七ついれのは、外が七ついれのは、外が七つ監の天全く晴れて一點の

一つて我等の聴前に現れたる秀嶽西 一 総教操みが如く、此の天空を劃

在り。焼椒、栗酸、御糖なども贈 月下に眠る日本

見ら解、滿身 石石取産たる際なき 閉口した。

殿に當つてゐる『奉天電話』

貧困から

九日正午ごろ市内西公園町浦銀湾の鑑賞を萬引せんさらた中年の地数の鑑賞を萬引せんさらた中年の地数を表現せんさらた中年の地数 萬引き

世界最大 Z 伯號の二倍のL 大きさ 船

譜三、一分十七种へタ

高石)四分四秒

『アクロン(米)八日簽』ドイツのツェ伯號の二僧大、地球の圓周の半分を『アクロン(米)八日簽』ドイツのツェ伯號の二僧大、地球の圓周の半分を『アクロン(米)八日簽』ドイツのツェ伯號の二僧大、地球の圓周の半分を 五十萬立がフードンでそれに次いで第三、四號も作る主要表した 地球の半周を無給油無着陸で飛べる ※無給油無着

一大場形は一町三十億 が未だ逮捕されない『織嶺電話』 お野さんに同郷 つぼい縁談が

が懸まり村標は吹めて で、なるまテルの借金百 に、なるまテルの借金百 に、なるまテルの借金百 に、なるまテルの借金百 に、なるまテルの借金百 に、なるまテルの借金百 に、なるまテルの借金百 に、なるまテルの借金百 に、なるまテルの借金百 に、なる。

英軍樂隊演奏會

ので、村民四十三名は五日縣政府官窓に多大の迷惑なかけたさいふ

東京逐に勝つ

十三チ

參加

全横濱振はす

總出場人員八百八十餘に上る

(連軟式野球大會

都市對抗野球優勝戰 リ機アクラヴ イツクを出發

中八分権潤米

連時午後七時三十分當地な出發し 地元日間の滞在の後濃勢及び風雨 イ が三日間の滞在の後濃勢及び風雨 イ が一月大佐夫妻は

(25) ロクラブー大連列車區 (26) 音要クラブー大連列車區 (27) 常盤青年訓練所―滿織音樂 (31) ミカドクラブー消費組合A (32) 単頭倉庫―緑友倉 (28) 申頭倉庫―緑友倉

不戦一勝祸電バス

日露役の志士を

内田總裁が招待

滿洲館で懷舊談賑ふ

『サザンプトン八日登』メドゥア で来テ部選手ロット氏は来選手サ で来テ部選手ロット氏は来選手サ 文化理髪の魁

電氣 は電氣使用致します

年天地方の水害

撫順線等は列車延着

ā

腊

日も降り續き

藤図タンス数造販

悪店

(字)の鎖さ同じ色の触中時間か、記者などには機能ものだらうさ思って居たりの鎖を同じ色の触中時間が、記者などには機能もつから

消費組合で御用

そして苦暴力符合日の大をなじの三輪成金を以て驚ばれた人だの三輪成金を以て驚ばれた人だ ただけにいろいろな逸話の持ち **日倉胃腸治療所** 東 お伺ひします。
御申込に就て御用の方はハガキ及は電話を御掛けくだされば店員早速に

第四回

ってゐるが、

頭痛に 旅順乃水町藤図支店:

歌舞伎座出演 近代座 高 何卒よろしく御引立下さい 今日から 最大英族客機

朝鮮滿洲百大見本市

味 τ.

及月15、16、17三日間及月15、16、17三日間

中食券、福引贈呈

94-3 横濱勝つ 都市對抗野球 に飯突した谷機を大破したが電像室がしたかんなりを機を脱したが軽は リへ向ふ途中英國のトーン、ブリ 旅客を乗せてクロイドンを養しバ カのハンニバル號は本日十八名の

飯塚炭礦椿事 死傷者三十三名

東洋通信社斡旋部

四十五分頭炭車遊行と死傷者三十村銀家炭礦第二城で八日午後四時村銀家炭礦第二城で八日午後四時 (新聞名/記)

三名を出した機事があった、宿は一名が炭車に乗り泉行中人車同十十名が炭車に乗り泉行中人車同十十名が炭車に乗り泉行中人車同十十名が炭車に乗り泉行中人車同十十名が炭車に乗り泉行中人車同十十名が炭車に乗り泉行車を終した。 紹和六年八月 大連 将係二承合セラレタシ 大連

連

ル男子詳細い庶

エスキモー 0

は『ボイントバロー八日登』リンデは、土民の海林さにうたれた夫妻は「た、土民の海林さにうたれた夫妻が、土民の海林さにうたれた夫妻が、土民の海林さにうたれた夫妻が、土民の海林さにうたれた夫妻が、土民の海林さにうたれた夫妻が、

選手勝つ

変してやるさ線束して土民の研修をかち得てある、使用機の調子は カンち得である、使用機の調子は フースランド 獣へは 立寄らず 軽響 胃腸病の 村 文 化 糊 製造元 **持田商店** 新治療

大阪多額補選結果

『大阪九日餐』を翻撃戦田村職治
「大阪九日餐』を翻撃戦田村職治
「大阪九日餐」を翻撃戦田村職治
「大阪九日餐」を翻撃戦田村職治
「大阪九日餐」を翻撃戦田村職治
「大阪五日餐」を翻撃戦田村職治
「大阪五日餐」を翻撃戦田村職治
「大阪五日餐」を翻撃が発売ます。一度試ら下さい温熱快盛を
たた
「大阪多額補選結果
「大阪五日経過に着力します」
「大阪多額補選結果
「大阪多額補選結果
「大阪多額補選結果
「大阪多額補選結果
「大阪多額補選結果
「大阪五日経過に着力を表現します」
「大阪本のはる」
「大阪本のはる」
「大阪本のはる」
「大阪本のはる」
「大阪本のはる」
「大阪五日経過に着力を表現します」
「大阪五日経過に着力を表現します」
「大阪五日経過に着力を表現します」
「大阪五日経過に対して、大阪本のは、大

御相談に應じます 界各國酒類 東京風菓子謹製 食

大連市兒玉町四番 丁鑛業 料品

日本各地名産

御轉宅 トラック大中小何日にても何間に合はせます方には無料御届けします。 東門人夫を何はせます 東門人夫を何はせます 運 之 九 二 商 會 運送部 電話七二八七番

古を可扱き新聞名を配人の上去ない。安全自宅管養養を無太不堂脊髄藥本家

以で容易く安全迅速に 本剤獨得の特殊作用を 本剤獨得の特殊作用を

父マチス

特殊流經劑

電話四六四八番店

製造發賣元 岩 百匁金十錢

州福神漬 安 小出庫の廢止

設立計畫進捗す

現在の不況打開策

奉天飲食店

日 作成しなるべく早く手渡し又 海流につき協議の結果谷女給の寫真な手渡すべき關東職よりの命令事前

內紛解決

【奉天】 奉天飲食店組合の役員

はから三光に参集し微静の結果分 時から三光に参集し微静の結果分 時から三光に参集し微静の結果分 見合せる即ち現在のま、持續する この問題に関しカフエー製者はそり同夜は九時頃監合した、 微いてり同夜は九時頃監督した、 微いての問題に関しカフエー製者は部がに保留することになり同夜は九時頃監督した、

になり、次いで飲食店組合の部標であるが 一定なり、次いで飲食店組合の部標であるが 一元來この動機が持ち出されるや 一方では、一個東顧されるや 一方では、一個東國なので同 一位であるが 一方では、一個東國なので同 一位であるが 一方では、一個東國なので同 一位であるが 一方では、一個東國なので同 一位であるが 一方では、一個東國なので同

六 和

全撫順軟式野球 愈よけふから開始

テームである、大食総合せは左の は廿八に上つたが何れも代表的 のである、大食総合せは左の 本語問十日婦靈の答 本岩大尉 十日午後六時四十七分發列車にて新任地濱田に赴任 分發列車にて新任地濱田に赴任 大日午後四時十分餐急行にて赴 氏、今回大連醫院事務長となり 八日午後四時十分餐急行にて赴 住されが雨天に拘らず多藪の官 民有志並に夫人方の見送りがあ

つた ◆伊藤大石崎地安議長 全高地委 聯合向特別委員さして宇垣朝鮮 總督に滿洲事情陳情のため九日 奉天經由京城へ 車中にて盗難 天

(m) 今古城子 G 山 勝者(4) 中央網球場 A B 勝者(1) 今中央 上衣を助き車内に掛けてあた處院と大変を助き車内に掛けてあた島崎鶴殿が一等室に乗車してあた島崎鶴殿が

奉天驛の顔合 三氏の送別會九日午後 大陸減院長度就能にな訪問頭に第四次の部下で襲撃闘であった小闘子へ分の部下で襲撃闘であった小闘子への部下で攻撃闘であった小闘子へ 張宗昌氏赴連

樓主、養母の争ひ

質母と養母の真情が判り

漸く圓滿に納まる

義捐金を

返し來る

沿線往來

金谷巡査の一周忌

本信車 次更 と 大警備の燃売製売金さらて送付することになってゐるされる。 「本信車、次更と 大警備の燃売製売金さらて送付することになりその管敷総金は戦能をは戦能を立る。」 人質四名を奪還 自衞團等馬賊と交戰 原指の機能な田地さらて知られて表。 原指の機能な田地さらて知られて知られて多数には就ない地で見上で、全日に就ないない。 を整理で見ません。 を整理で見ばして知られて知られて表。 を整理で見ばしば、一般ないで見ばした。 を整理で見ばしば、一般ないで見ばした。 を整理で見ばしば、一般ないで見ばした。 を整理で見ばしば、一般ないで見ばした。 を整理で見ばしば、一般ないで見ばした。 を整理で見ばしば、一般ないで見ばした。 を整理で見ばしば、一般ないで見ばした。 を整理で見ばしばく内地に引揚げた。 を整理で見ばしばく内地に引揚げた。 を表。 曲物を逮捕す

た日本記は山脈神近に不迷野人ら とい墨動不審の者が裸綱と或は有こ とい墨動不審の者が裸綱と或は有こ から應接際出動捜査の結果連邦 から應接際出動捜査の結果連邦 遼陽西本願寺では本山特派佛教學 本願寺の講演

動場に於て旅順俱樂部員で離球試員は來る十日午後五時から旅順運 旅順工場へ入集中の英潜水輪乗和 日英蹴球試合 一時からは婦人の母めに帯滅會な催れたらは一般の母めに帯滅會な催 課金納入成績

香 計 六六二〇八 香 計 六六二〇八 寶物奉迎打合 石 所が選定し

はまる中地議・は高楽紫茂の多大日本の中はは高楽紫茂の変を出来して楽が、後の変を表して、いまるのでは、一本のでは、一は、一本のでは、一は、一本のでは、一は、一本のでは、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、一は、「は、これのでは、これので 備成る 自x番を が不老を表 の登 の登 変質でも、飲用で皮膚を

ンペラ例 本の外交は動

かの趣物を見上げた。小便の話を 「しまるのだった、数での聴物に個 に見えるのだった、また健康級で に見えるのだった、また健康級で でなが黙認の家に似っかはらい能 でもれてから、彼は何時ものあけ でもれてから、彼は何時ものあけ ではされてから、彼は何時ものあけ ではされてから、彼は何時ものあけ ではきれた。

◆レコード (イ 學校大賞正 大連 104

四回)大連神明高等女際医「最近科學文明の ★末膜町五ノ四 魚住一房氏三男 度は水雪でアメ(ム)ないさうだ ため重像を影り演

(四)

法權撤廢反對の

に関し協議の総集之を受理することの制任

意し七日離表を提出した之がために後低も内定してあるので種々の

委員が上京

吉林有志出發に際して激勵

飲食店の女中にも手根を所持せる全満飲食店組合総合會に於て一般

[奉天] 遼寧國民外交協會では八

謝恩す

機關區問題で

遼

陽

百六十餘戸九百餘名が在住し水田町六十餘戸九百餘名が在住し水田

遊藝大會

展示をできます。 では、 この では、 り七日午後零時十五分費吉長列車政明、稲村崎一の國氏は梁定の通法権撤級反響陳儒委員さして三橋 み居留民の御期な 出な直接にて出 途中は

彼は魅った。

社がひけるこ春木は直大山の屋 を電話をかけて、たえ子を呼び 数へ電話をかけて、たえ子を呼び

ろな逃山上を張つて、

え子な電話口に出さない。春木は

さやめることも出來ない。でなか

絶對反對の運動

安容総総曲一路 内のアンペラ概 云へ書の炎熱夜

京市外日春星町金杉七七二聯の友(八月號)置三十錢、町の友(八月號)置三十錢、町の友(八月號)置三十錢、東京川野の大・八月號)二十錢、東京川野の大・八月號)二十錢、東京川田の大・一部一路の大・一部一路の大・ 紀伊八十五番地声洲農事滿洲(八月號)三十五錢

市久方町五大連川柳紅市久方町五大連川柳紅 肠會 連市株源発二九六滿洲鄉土縣 洲短歌(八月號)價三十錢、

○慰疫療跡に養丹◇疲勢倦怠に費丹◇咳込みに實所 ○無付藥として實力。今飲過食過に費丹。○無分惡しきに實力 ◇船車の際に費件 ◇順痛眩暈に費件 ◇時候中りに費丹

放送り



寳丹の常用は メ本位懷中藥 救急の を有す す

陳情委 員出發 林 一座事務室に行つて見たが、勿論 春木はその次目もいちくして たえ子の姿はそこになかつた。

がになってから社長の大山門大 がは照脱りにはちきれさうな機を 象歩きさ云ったやうに搖りながら 社に出て來た。が、社内を一願見 がるさ今日もまたごろりさ社長空 我木は初めて憎悪の塵を豚のや いったれ とのでない、今日はその寒になけた。今迄は、ちな社長の寒姿にむけた。今迄は、 罪語にみちた深夜がずかして見え

三橋氏 等過長 春 大山家の「伏紫殿」であること、大山家の「伏紫殿」であること、 大山家の「伏紫殿」であること、

でので、下草にはこぼろぎが寂しへ げに鳴いてゐる。彼は長い飛び石 がに鳴いてゐる。彼は長い飛び石

ちさ、森の樹々にはもう病薬が見え 大山家へ訪れて行くことにもた。 街上には既に秋風がたつてゐた はの屋敷の大きい石門を違入る

春記者俱樂所で

はなった。 は最後なの変素と日本側のの変素と日本側の変素とであった人文の変素と日本側ので変素と日本側ので変素といいた。

を は ない で は は は ない で い や これに よって 一代に 戦 は らるの だった。 第一 は 一 報 は あるの だった。 第一 は に 概 場の 帰っきで ある。 框 場 接 致 に 根 場 の 解 の に で き まいて、 根 場 さ ご さ ふ よい や これに よって 一代に 戦 百 萬 の が 合 で で れ に まって 一代に 戦 百 萬 の が 合 に な で を 記 に な で を 記 に ま で を 記 に ま で を 記 に ま で を 記 に ま で を 記 に ま で と に 戦 る こ さ は で を 記 に ま で と に 戦 る こ さ は で を 記 に ま で を 記 に ま で を 記 に ま で と に 戦 る こ さ は で を 記 に ま で と に 戦 る こ さ に す で と に ま で と に 戦 る こ さ な で を 記 に ま で と 記 に ま で と 記 に ま で と 記 に ま で と 記 に ま で と 記 に ま で と 記 に ま で と 記 に ま で と 記 に ま で と 記 に ま で と 記 に ま で と 記 に ま で と 記 に ま で と 記 に ま で と に ま で と に ま で と 記 に ま で と に ま で と に ま で と に ま で と に ま で と に ま で と 記 に ま で と に ま で

云ふ考へを趣させる。そして、相

つてゐるさ、特時間に対な類か なきものなつけ、滿面に笑な類か

(13)

お物でないのが例外だった。 を れいのするで暗くなったやうな 淺枝次朗書

◆キングへ九月號) 大地に立つ(野村愛正 天晴れ煙料準(白井香二) 牢獄の花嫁(吉川英治・大銭、東京大日本雄辯會講談計か ★交懸俱樂部(九月號) 天保示門を 驚(土師清二 旅本遠原男(佐本味津三)百層 譜(野村胡々木味津三)百層 譜(野村胡々木味津三)百層 譜(野村胡々木味津三)百層 譜(野村胡

三五番地大峯は、「便五十錢、大連市西公園町路(八月號) 確奇的夏の讚

市東區積捌二丁目十六 (第十五號) 價二十

の内二丁目十二番地國第八號) 関四十銭、東京市野) 関四十銭、東京市野) 関防會議に

明風内山下町一丁目一頭(松井等・慣五十線) で開い、 で開い、 で開い、 で開い、 で開い、 で開い、 で開い、 で開い、 で開い、 で用い、 で用い、

杉並町馬橋五四七柳樽、八月號)價三十五錢、

南手帯會止 南手帯會止 南手帯會止 南手帯會上 南手帯會上 南手帯會上

特に夏の家庭に海に山に

必ず真價を發揮いたします ◆旅行散步に實丹 ◆衛化衛衛に寶丹 ◆腹痛吐傷に寶丹

本店

支店

振替 大阪 五七七三九番 振替 東京 二九八五番 振替 東京 二九八五番

◎新發費なれば 最繁態店になき時は 南接切手代用御注文

〇全國各職店にて販費**ナ** 視せず御常川あれ不時の急病に際して資丹あるのみ他の一時的清凉劑と同一護身藥として缺くべからざるは唯一つ